

# ECO-SAM 解析ソフト操作説明書



H23年3月

株式会社 **トワード** 物流

## 目 次

1. 概要	3
1-1. 機能概要	3
1-2. 機能全体図	4
1-3. 運用の流れ	5
2. 運行解析の起動	6
3. 走行データの取り込み	7
4. 運行解析	9
4-1. 走行データの描画	9
4-2. 画面の説明	12
4-3. 機能の説明	13
(1) 表示間隔の変更	13
(2) 区間データの取り方	14
(3) 時刻の移動	15
(4) ページの移動	15
(5) 過加速・過減速インディケータ	16
(6) 要約	17
(7) 急加速・急減速を探す	18
(8) グラフの追加削除	21
(9) GPS：地図を表示する	24
5. バッチ処理その他	28
5-1. バッチ処理（ランキング表）	28
5-2. 印刷（印刷プレビュー）	30
6. 管理ツール	31
6-1. 設定	31
6-1-1. 全般	32
6-1-2. 日報	34
6-1-3. 色設定	36
6-1-4. 計測設定	37
6-1-5. データベース設定	38
6-1-6. 評価基準	39
6-1-7. 評価テンプレート	40
6-1-8. テンプレート車両割り当て	43

---

---

6-1-9. 走行データテンプレート.....	45
6-2. マスタメンテナンス.....	47
6-2-1. 新規登録.....	47
6-2-2. 変更修正.....	53
6-2-3. 削除.....	54
6-2-4. 出力・取込.....	55
6-3. 管理者設定.....	57
6-4. DBメンテナンス.....	58
<b>7. 走行データの修正と削除.....</b>	<b>59</b>
<b>8. 終了.....</b>	<b>61</b>

## 1. 概要

---

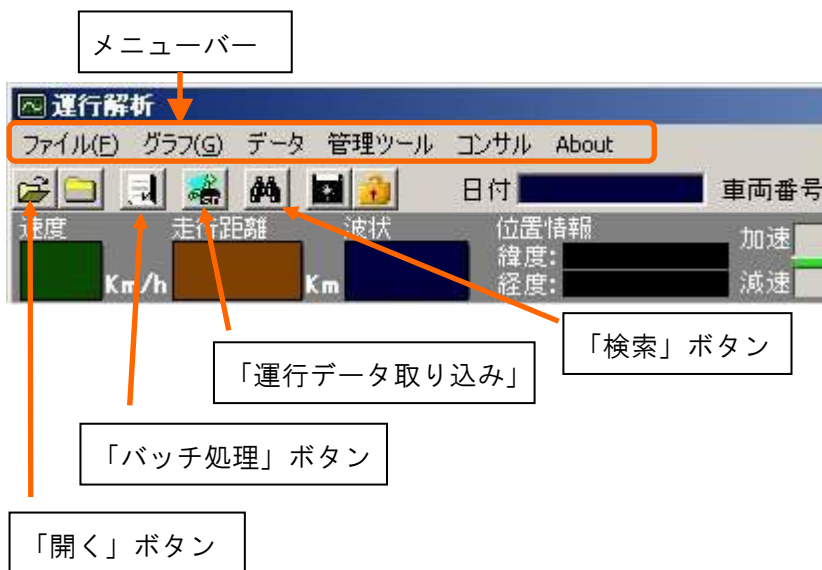
本冊子はパソコンで解析するソフトウェアの操作方法を説明したものです。

### 1-1. 機能概要

ECO-SAMで記録された運転時の測位情報は、帰社後パソコンの解析ソフトに読み込ませることによって、解析・診断及び日報出力を行うことができます。

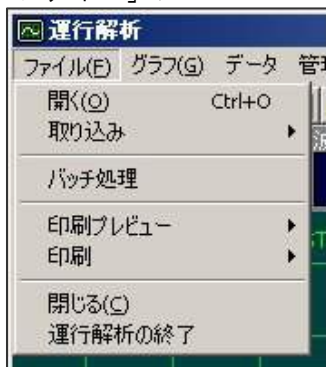
速度・走行距離といったデータを、走行軌跡と連動して読み取れますので、安全運転解析、経済運転解析に役立てることができます。

## 1-2. 機能全体図



メニューバーからのプルダウン

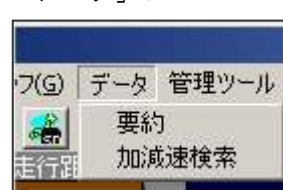
「ファイル」メニュー



「グラフ」メニュー



「データ」メニュー



「管理ツール」メニュー



「コンサル」メニュー



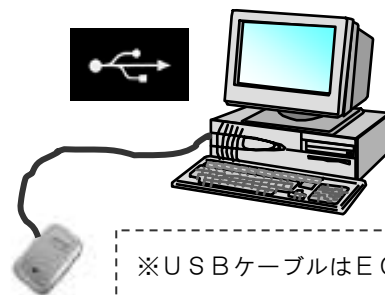
※コンサル契約されているお客様向けです。

### 1-3. 運用の流れ

1. ECO-SAMを運転席に持ち込み、走行データを記録します。
2. 帰社後、ECO-SAMを持参し、走行データを取込みます。



3. 運行解析ソフトを起動します。(P 6 参照)
4. ECO-SAMを、USBケーブルでパソコンと接続し、データを取り込みます。(P 8 参照)  
必要に応じて、運転レポートを印刷します。



5. 運転解析を行ないます (P 9 参照)。

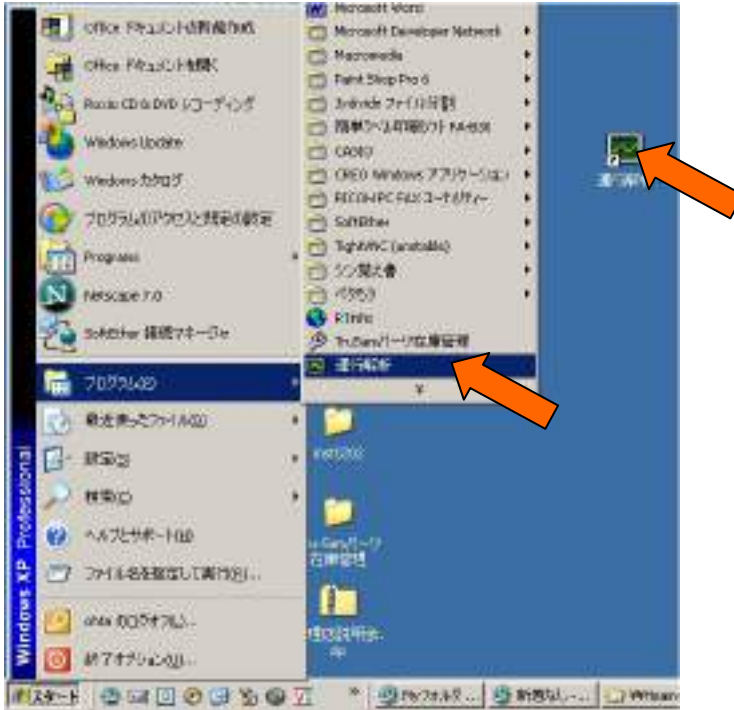


6. 運行解析ソフトを終了します。(P 61 参照)

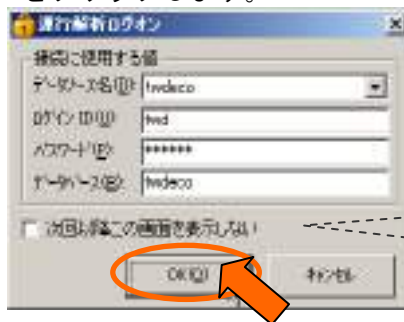
## 2. 実行解析の起動

### ■操作

1. デスクトップ上の実行解析のアイコンをダブルクリックするか、「スタート」→「プログラム」→「実行解析」をクリックすると実行解析ソフトが起動します。



2. ログオン画面が表示されます。「ログインID」と「パスワード」を入力して「OK (O)」をクリックします。



※ここにチェックを入れると  
次回からログイン画面が表示されません

3. プログラム「実行解析」を実行すると下図画面が立ちあがります。  
ここで、実行データの取り込みや、取り込んだ実行データの解析を行うことができます。



## 3. 走行データの取り込み

### ■操作

※ドライバと車両番号はマスタメンテナンスで登録されている名称が表示されます。  
先に登録を済ませておいてください。

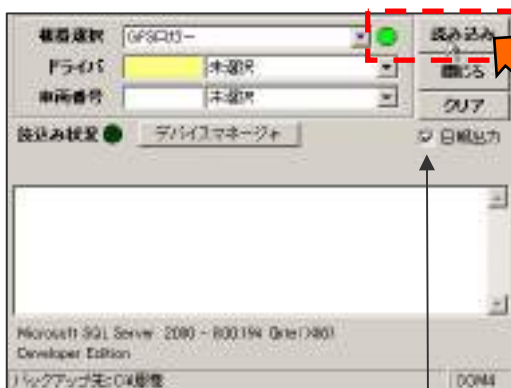
1. ECO-SAMとパソコンをUSBケーブル（付属品）で接続し、ECO-SAMのスイッチがLOGにスライドしていることを確認します。
2. 「ECO-SAMデータの取り込み」ボタンをクリックします。



または、「ファイル」メニューから「取り込み」→「ECO-SAMデータ」をクリックします。



3. 【ドライバ】【車両番号】を選択し、●緑色になっていることを確認し、「読み込み」ボタンをクリックします。

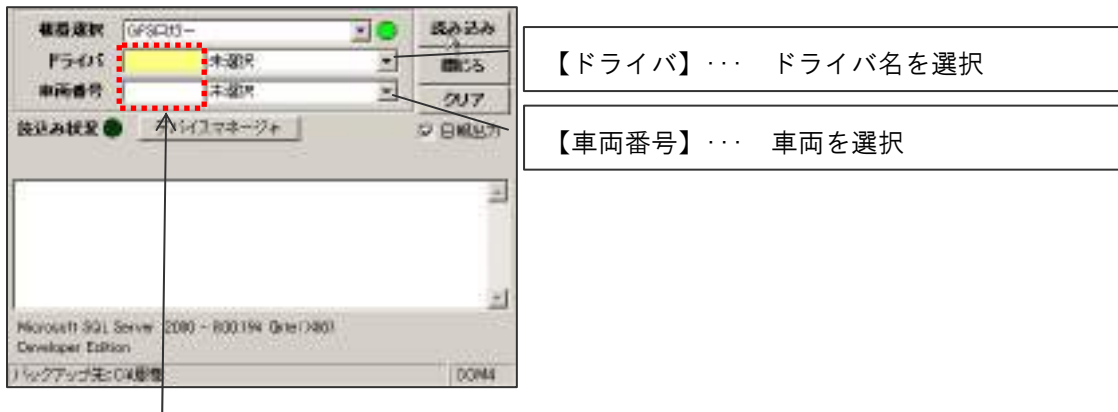


※●が赤色の場合は読み込みできません。  
ECO-SAMが接続されているか、スイッチがLOGに入っているか確認してください。

「日報出力」にチェックがはっていると、取り込み後に運転レポートが自動出力されます。

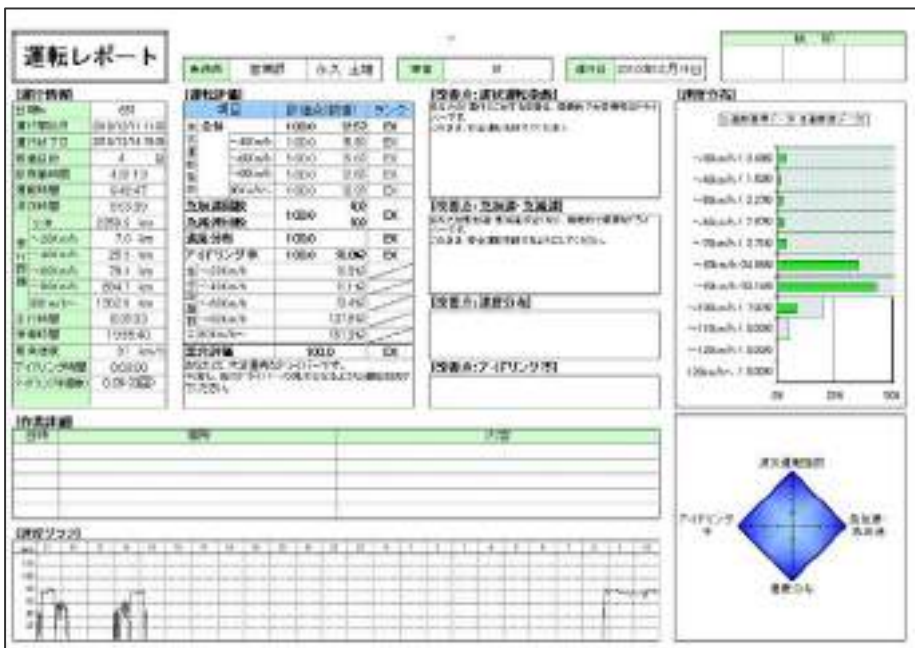


4. ドライバー・車両番号を選択するときは▼をクリックするとリストが表示されます



※乗務員ID・車両IDを数値入力することも出来ます。

5. 日報出力がチェックされていると、Microsoft Excel が起動します。  
必要に応じて印刷をしてください。



6. 「閉じる」をクリックします。



## 4. 運行解析

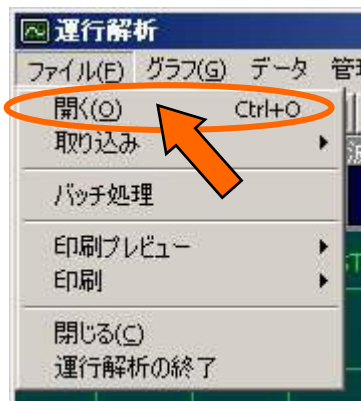
### 4-1. 走行データの描画

#### ■操作

1. 「開く」ボタンをクリックします。



または、「ファイル」メニューから「開く」をクリックします。



2. データオープンの画面が表示されます。

走行データを表示させたい行をクリックして「実行」ボタンをクリックします。

(またはデータの行をダブルクリックします。)

ここで波状運転指数の確認ができます。  
※目標値に達していない場合は、  
乗務員へアドバイスをお願いします。

列のタイトル行をクリックすると、  
並べ替えができます。  
クリックを繰り返すことで、昇順、  
降順が入れ替わります。

※カレンダー画面

表示させる走行データの範囲を指定できます。【週単位】と【月単位】が選べます。

表示させたい週または月の中の1日を選んでクリックします。

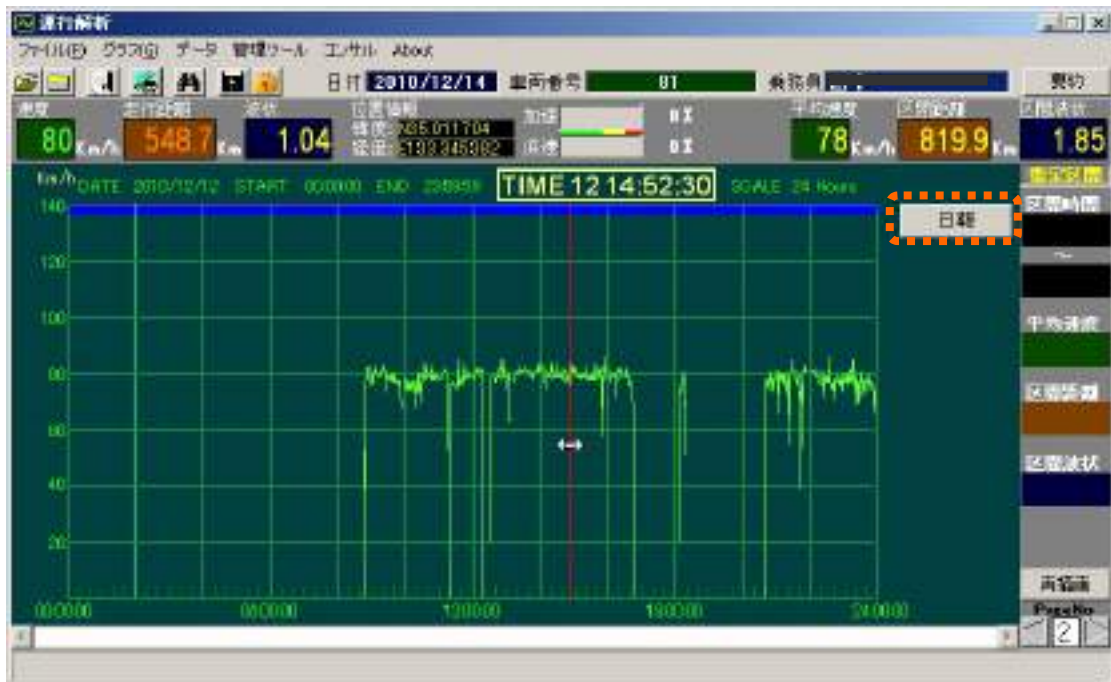
変更をした場合は、「最新ボタン」をクリックするとリストが表示されます。

▼をクリックするとカレンダーが表示されます。

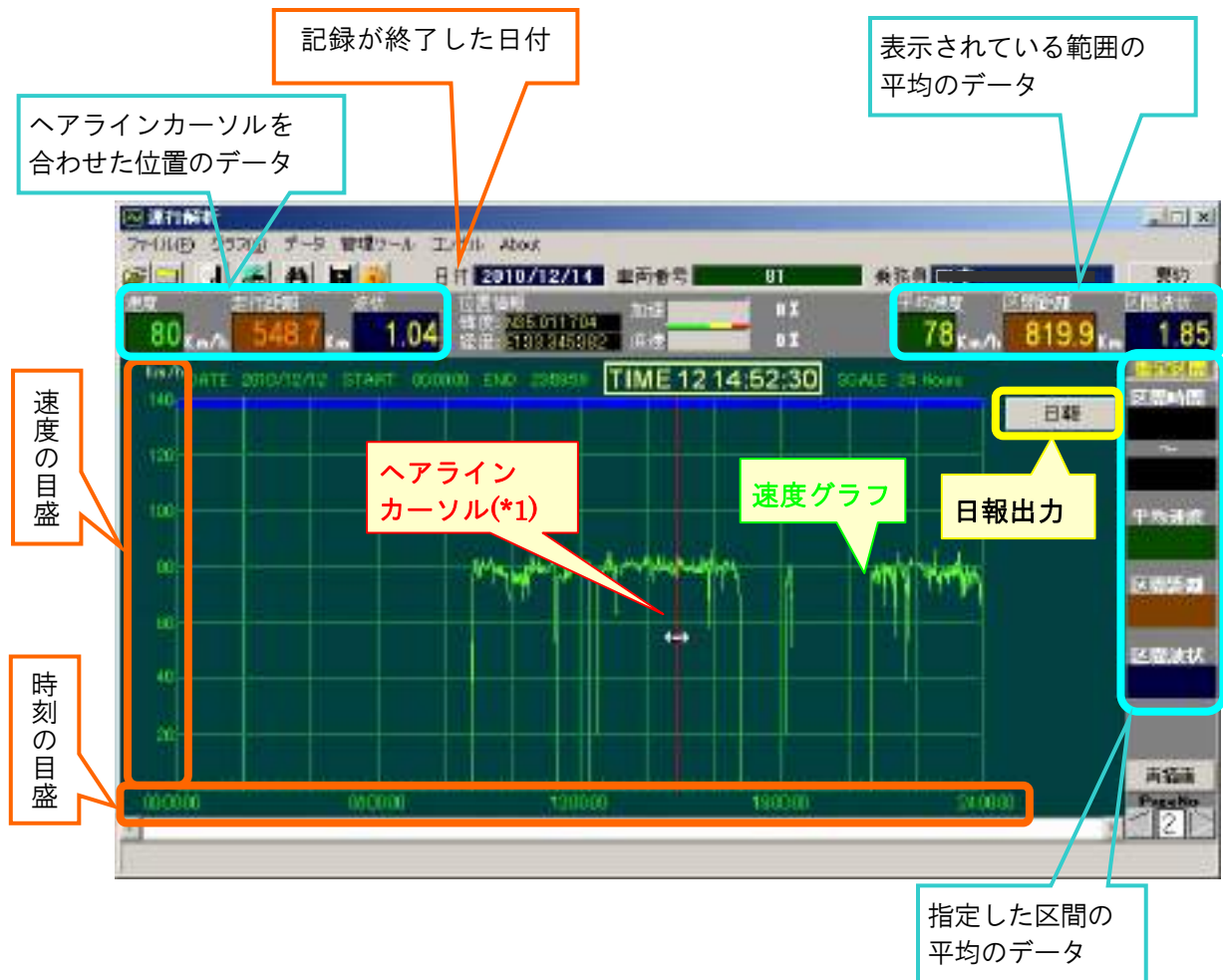
両側の◀ ▶ ボタンで月の移動ができます。

3. 実行ボタンをクリックすると、走行データが描画されます。

走行データが表示されていれば、日報ボタンを押すと日報が表示されます。



## 4-2. 画面の説明



\*1 ヘアラインカーソル：マウスで左右にスライドさせて、時刻を指定します。



## 4-3. 機能の説明

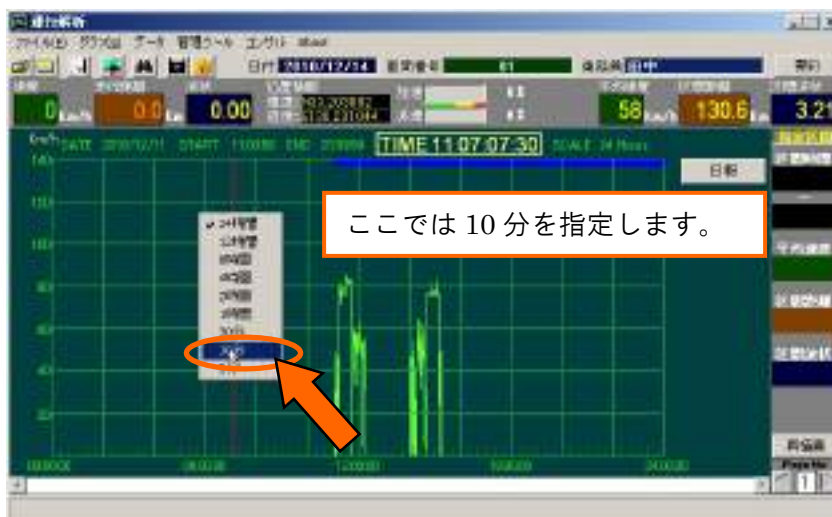
### (1) 表示間隔の変更

#### ■機能

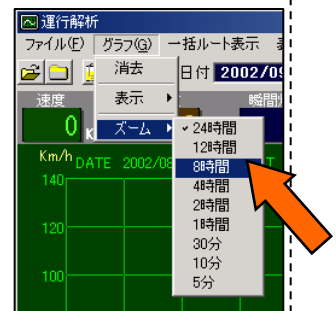
表示したい時間の間隔を5分から24時間の範囲で拡大縮小することができます。

#### ■操作

1. グラフの画面上（どこでも）でクリックすると時間の間隔を変更できます。表示したい時間間隔をクリックします。



または「グラフ」メニューから「ズーム」をクリックして選択します。



2. グラフのスケール表示幅が10分になります。



## (2) 区間データの取り方

### ■機能

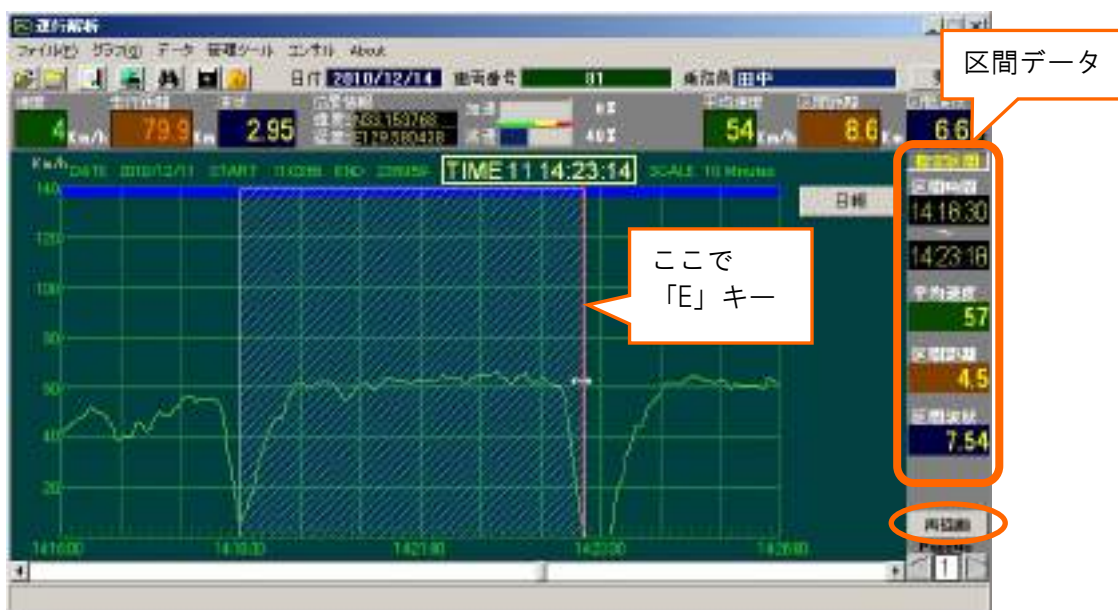
指定範囲の区間時間、平均速度、区間距離、区間波状運転指数を求めることができます。

### ■操作

1. データをとりたい区間のスタート時点にヘアラインカーソルをおき「S」キーを押します。



2. ヘアラインカーソルを右にスライドさせデータをとりたい区間終了時点で、「E」キーを押します。指定した区間内の各種データが表示されます。



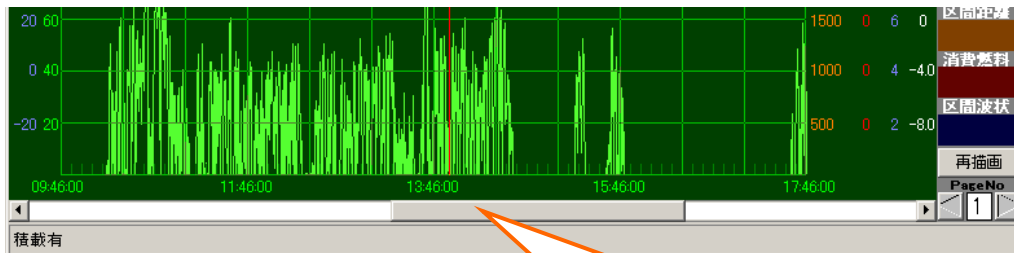
※ 区間指定を解除するときは「E s c」キーを押すか「再描画」ボタンをクリックします。

### (3) 時刻の移動

#### ■機能

グラフ表示される範囲を移動することができます。

#### ■操作



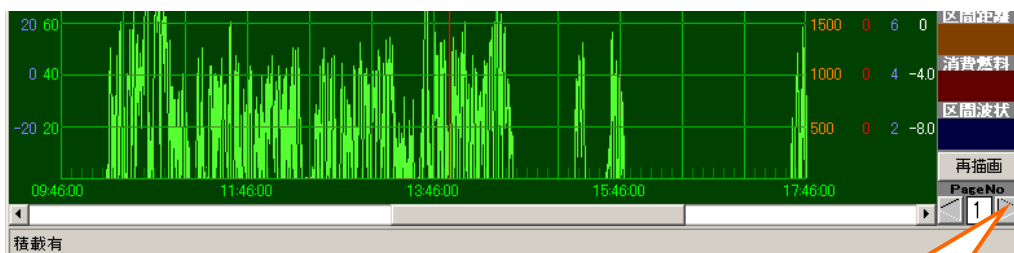
このスクロールバーを左右にスライドさせて、時刻を移動します。

### (4) ページの移動

#### ■機能

グラフ表示される範囲をページ単位で移動する事ができます。走行が2日にわたったときなど、2日目のデータを見たいときは、ページボタンで移動させます。

#### ■操作



このボタンでページを移動します。



## (5) 過加速・過減速インディケータ

### ■機能

「設定速度」に対するその瞬間の加速・減速の割合が表示されます。

%表示が大きいほど速度変化が大きいことを示します。赤のエリアは要注意です。

100%以上になると急加速・急減速をカウントします。

加速：加速しているときは、加速側にグラフが表示されます。



減速：減速しているときは、減速側にグラフが表示されます。



## (6) 要約

### ■機能

1 走行あたりの要約データが表示されます。

### ■操作

1. 「要約」ボタンをクリックします。



2. 今回の運行のトータルデータが表示されます。



#### ・波状運転指数とは：

速度データから、フーリエ変換を用いて理想的な速度を割り出し、実際の速度との差分を数値化したものです。

この値が高い人は、急加減速が多く車間距離が十分でない運転をしていることが推測されます。

目安は10ポイントで、これよりポイントが低い人は滑らかな運転を、高い人はムラのある運転をしていることが考えられます。

車間距離が十分でないと、事故を起こしやすいばかりでなく、燃料も不要な消費をしてしまいますので、この波状運転指数を運転指導に役立ててください。

## (7) 急加速・急減速を探す

### ■機能

指定された加減速の条件及び時間から、その条件で加減速を行った時刻を検索し、その時の加減速状況を表示することができます。

### ■操作

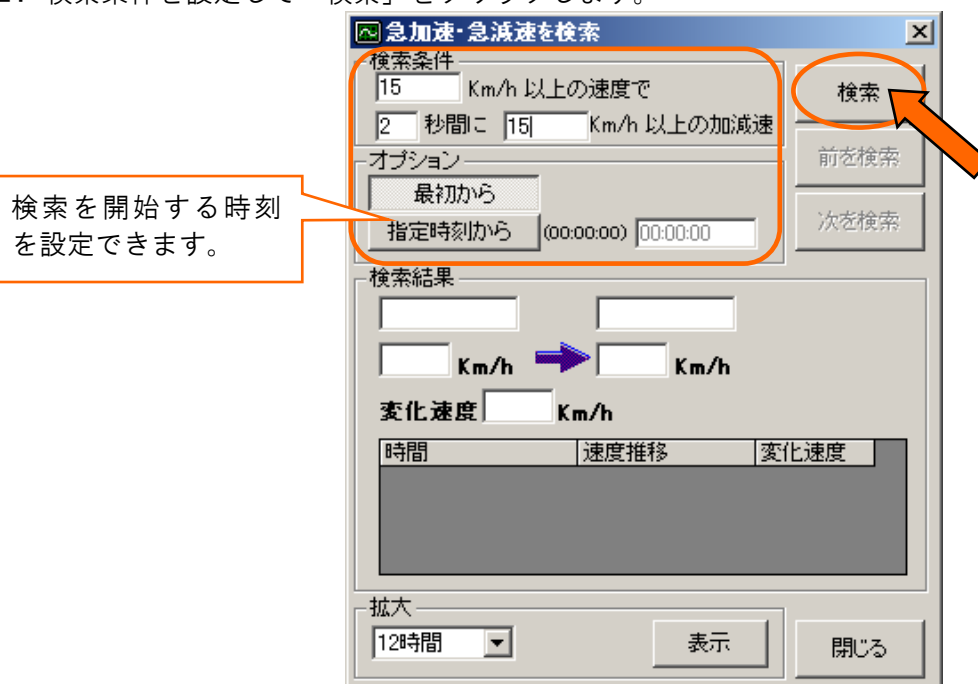
1. 「検索」ボタンをクリックします。



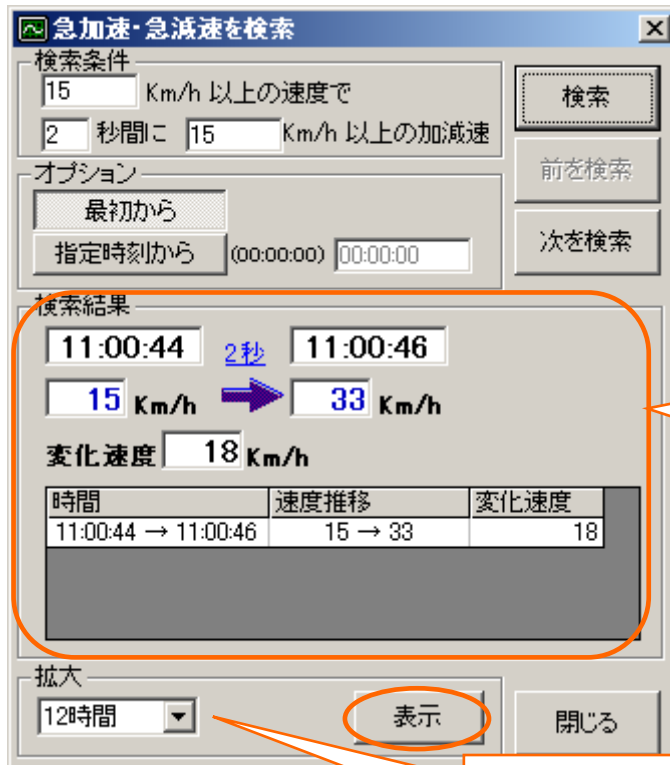
または、「データ」メニューの「加減速検索」をクリックします。



2. 検索条件を設定して「検索」をクリックします。



## 3. 検索結果が表示されます。



この場合、  
2秒間の間に速度変化が  
18km/hありますので、急減速  
を検索しました。

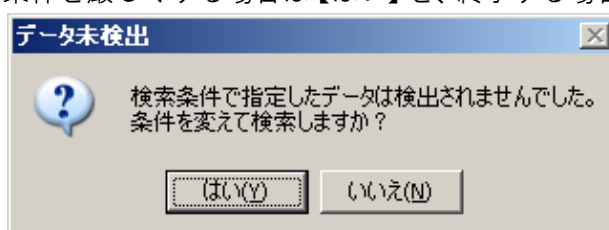
下の速度変化のグラフが見にくい場合は、、、  
表示時間の間隔を(10分や5分に)変更し、「表示」  
をクリックすると間隔が広がり見やすくなります。



このヘアラインの位置が  
検索結果の場所です。

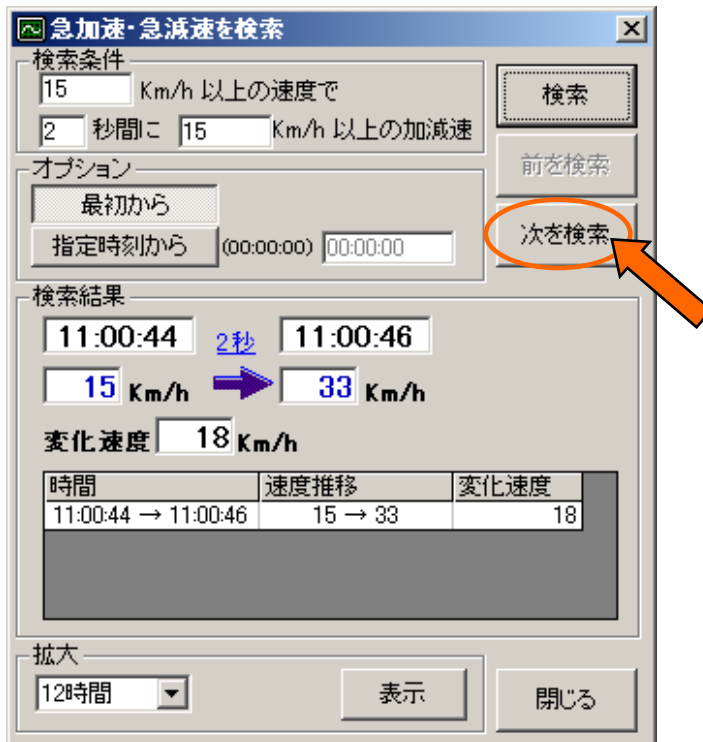
※検索条件に合う急加速・急減速がない場合は、下記メッセージが表示されます。

検索条件を厳しくする場合は【はい】を、終了する場合は「いいえ」をクリックしてください。



4. 「次を探す」をクリックすると次の検索ポイントへ移動します。

※急加速・急減速ポイントがない場合は「次を検索」ボタンが押せなくなります。

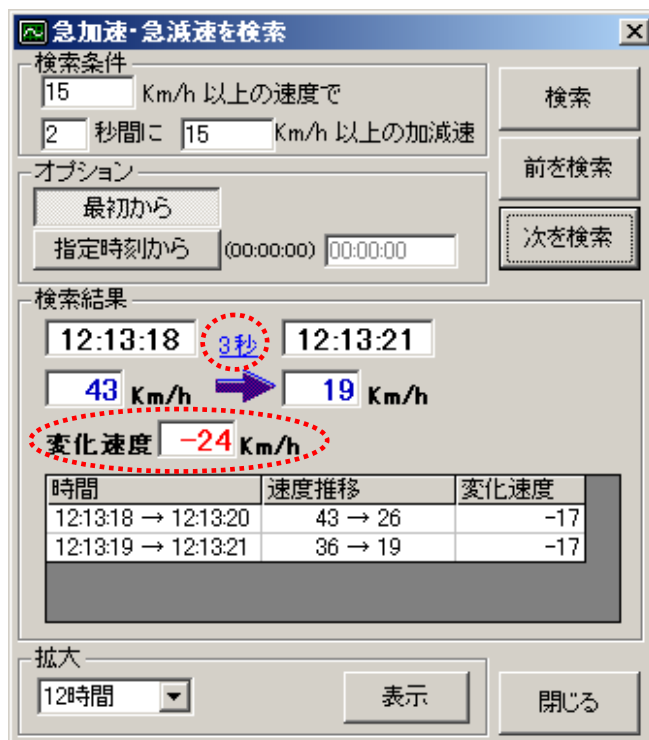


#### ■注意点！・・・旧加速・減速が連続している場合

下図のように12:13:18から12:13:21までの3秒間に-24km/hの減速をしている場合、2秒で検索すると12:13:18から12:13:20までの-17km/hと

12:13:19から12:13:21までの-17km/hの減速を2回検索しますが、連続しているので検索結果の表示はまとめられて3秒間に-24km/hの減速となります。

(2秒間で20km/hの設定で検索しても検索できません。)



## (8) グラフの追加削除

### ■機能

「① 速度」から「④GPS」の各機能をグラフ描画に追加及び削除ができます。チェックマークが入った機能がグラフ描画されています。チェックマークの入っていない機能をクリックするとその機能が描画されます。反対にチェックマークの入った機能をクリックするとそのグラフが描画されなくなります。

#### ① 速度

緑のグラフです。

#### ② 理想速度

白のグラフです。

#### ③ F f t



#### ④ GPS

GPSにチェックマークを入れると、グラフ表示上のヘアラインカーソルをあてた部分と地図表示を連動して表示させることができます。

「住所表示あり」を選択すると、地図表示ウィンドウの左下の地図表示領域に、地図上の住所が表示されます。

「住所表示なし」を選択すると、地図表示ウィンドウの左下の地図表示領域に、地図上の住所が表示されません。



## ■操作

〔②理想速度のグラフを追加表示〕

1. グラフ画面上どこでもいいので右クリックします。

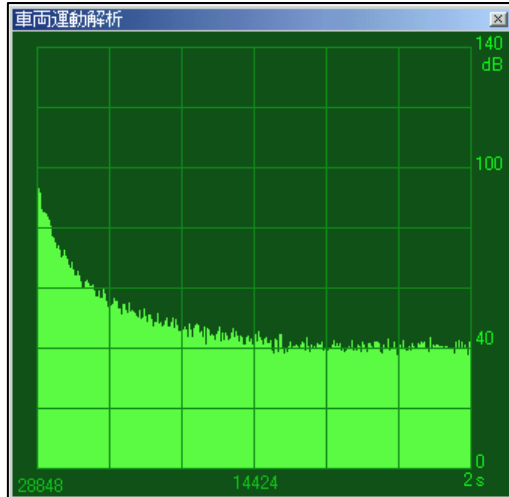


2. 理想速度のグラフが追加されます。



## 〔③ F f t を追加表示〕

1. ②理想速度のグラフ追加 操作1. と同様に、「F f t」を選択します。
2. F f t グラフが表示されます。

**F f t とは・・・**

ファーストフーリエ変換の略で、上図は加減速の激しさをあらわします。  
見方としては、グラフが右肩上がりだと加減速が激しいということになります。

横の目盛が周期（秒）で、縦の目盛がデシベル（dB）をあらわします。  
速度の変動する周期（秒）が短いのがグラフ右側で、逆に速度の変動する周期（秒）が長いのがグラフ左側になります。その量を示すのがデシベル（dB）です。



## (9) GPS : 地図を表示する

## 〔④GPS〕

1. グラフ画面上どこでもいいので右クリックします。

「GPS」→【住所表示なし】【住所表示あり】のどちらかを選択してください。



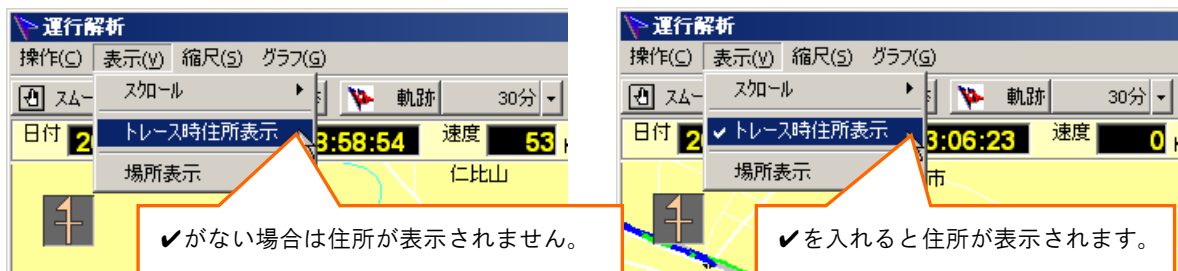
! ワンポイントアドバイス

**GPSの住所表示**

「住所表示あり」は住所を検索するための時間を要するため、描画の動きが多少遅くなりますので、とくに住所表示が必要ない場合は、動きがスムーズな「住所表示なし」をおすすめします。

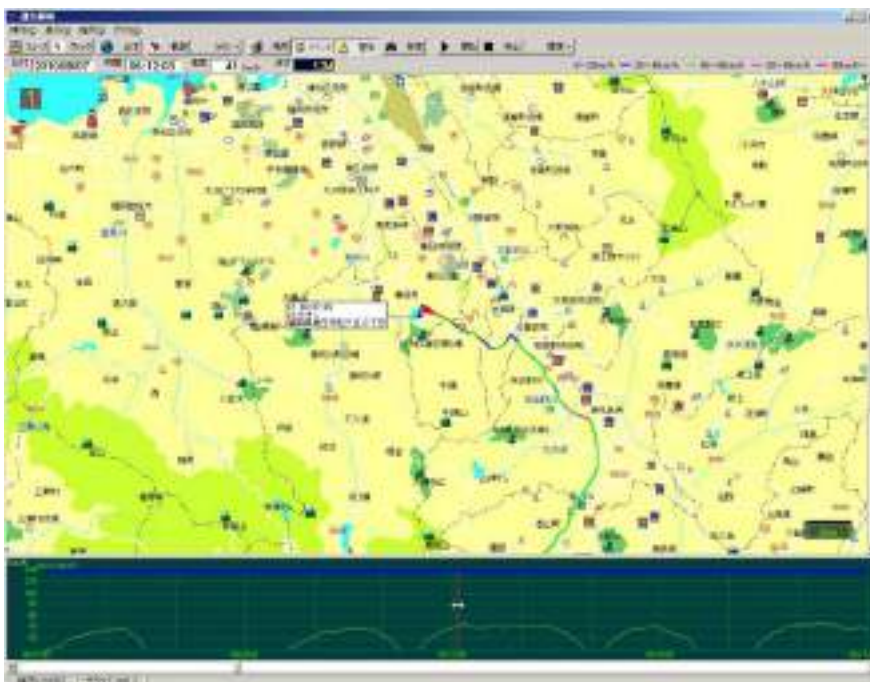
※住所表示は表示メニューの【トレース時住所表示】で変更できます。

【トレース時住所表示】をクリックするとチェックが入ります。もう1度クリックするとチェックが外れます。



2. 下図のように地図が全画面表示されます。

画面上部に地図が、下部に運行解析画面が表示されますのでそこで操作ができるようになりました。この画面で走行の軌跡、トレース、急加速・急減速の検索などができます。

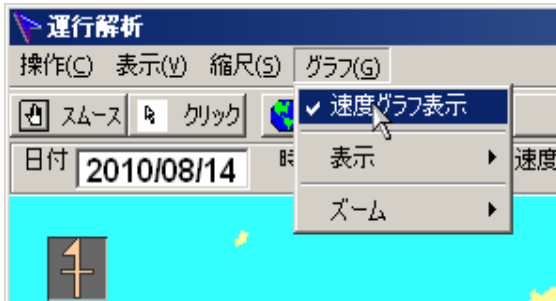


## 3. 速度グラフの表示・非表示

メニューの【グラフ】→【速度グラフ表示】を確認します。

通常、「速度グラフ表示」というようにチェックがはいつています。

速度グラフ(下部の濃い緑色の部分)を表示しない場合は、クリックしチェックをはずします。再度クリックすると、チェックがはいつり速度グラフが表示されます。



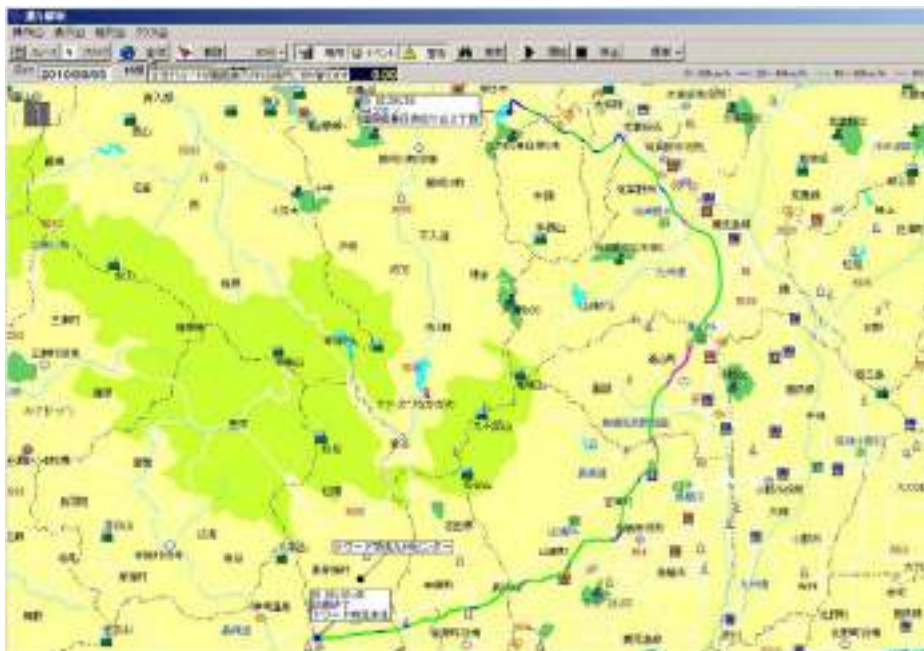
## 4. 走行の全体表示

全体のアイコンをクリックします。



走行ルート全体が表示されます。走行ルートが時速毎に色分けして表示しています。

80km/h 以上は赤、60~80km/h はピンクでというように色分けしてありますので、スピードが出すぎている場所などが一目でわかります。



5. 軌跡表示 (走行方向を▼で表示します)  
 (1) 間隔を、1分/5分/10分/30分の中から選択します。  
 (2) 軌跡のアイコンをクリックします。



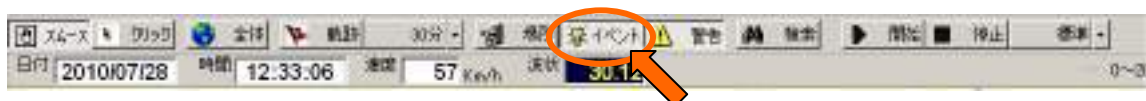
進行方向が表示されます。



6. 場所表示 (場所マスタに登録している場所)  
 場所アイコンをクリックします。



7. イベント表示  
 イベントアイコンをクリックします。



※営業先や配送先に着いたときなどに、ECO-SAMの赤いボタンを押すと、その場所が記録されます。その記録された場所を表示することが出来ます。



8. 警告表示 (急加速・急減速した場所)  
 警告アイコンをクリックします。



## 9. 急加速・急減速の検索

検索アイコンをクリックします。

詳細は、P18～19を参照してください。



## 10. トレース表示 (走行ルートを追跡します)

(1) トレース速度をを、標準/x2/x4/x8/x16/x32の中から選択します。

(2) 開始アイコンをクリックします。

(3) 一時停止する場合は、停止アイコンをクリックします。



## 〔※地図画面の印刷〕

地図ウィンドウの「操作」メニューから「印刷」をクリックします。





## 5. バッチ処理その他

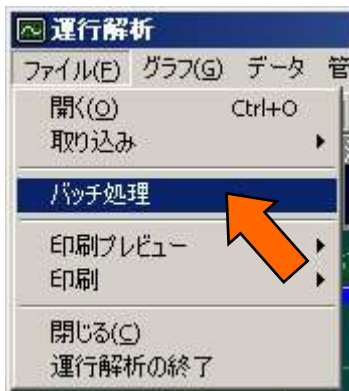
### 5-1. バッチ処理（ランキング表）

#### ■操作

1. 「バッチ処理」ボタンをクリックします。



または、「ファイル」メニューから「バッチ処理」をクリックします。



2. ランキング表を出力する年月を指定し、「OK」ボタンをクリックします。  
波状運転指数のランキング表（次ページ参照）が表示されます。  
※Microsoft Excel が起動します。



## 【波状運転指数ランキング表】

2010年8月度 波状運転指数ランキング				
【所属ランキング】				
順位	所属	当月波状運転指数	前月波状運転指数	改善数値
1	輸送課	1.902	5.474	3.571
2	営業課	5.188	6.692	1.504
3	経理課	11.658	13.378	1.720
4	協力会社	13.969	27.717	13.748

課全体の平均値が表示されています

【個人別ランキング】												
順位	所属部署	氏名	回数	走行距離	当月波状	前月波状	改善数値	総合	20~40	40~60	60~80	80~
1	輸送課	乗務員1	2	106	1.902	2.283	0.380	●	●	●		
2	営業課	乗務員2	5	2081	4.554	3.870	-0.685	●	●	●	●	●
3	営業課	乗務員3	6	261	5.822	7.585	1.763	●	●	●		
4	経理課	乗務員4	2	438	11.658	-	-	○	○	○	○	
5	協力会社	乗務員5	2	438	13.969	-	-	○	○	○	×	

個人別ランキング項目  
 20~40: 20~40km/h速度帯における波状運転指数評価ランク  
 40~60: 40~60km/h速度帯における波状運転指数評価ランク  
 60~80: 60~80km/h速度帯における波状運転指数評価ランク  
 80~: 80km/h~速度帯における波状運転指数評価ランク

評価ランク  
 ● 優秀 ● 良 ○ 可 △ 努力不足 ※ 事故予備軍  
 △ 印は改善が必要です。  
 ※ 印は危険な運転です。早期に改善してください。

指定した月に運行データが記録されているドライバの運行回数・走行距離・波状運転指数・評価ランク（マークで表示されます）が表示されます。前月の運行データも記録されていれば、改善数値も表示されます

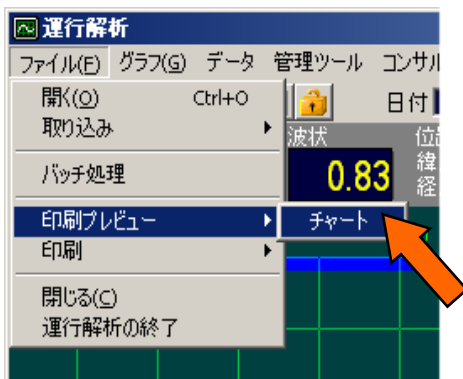
※△や×マークの多い方の運転レポート・運行データを見直してください。  
 エコドライブへのアドバイスが必要です。

## 5-2. 印刷（印刷プレビュー）

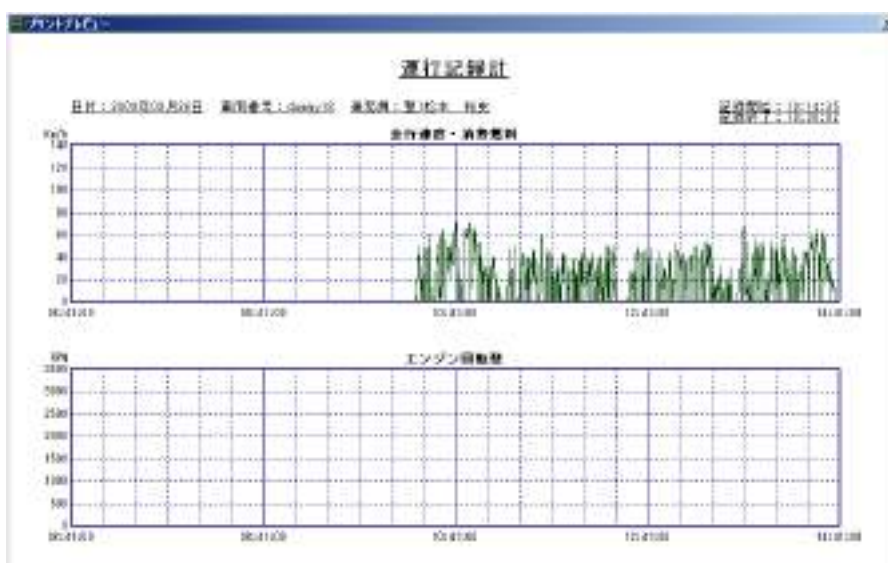
### ■操作

#### 〔グラフの印刷〕

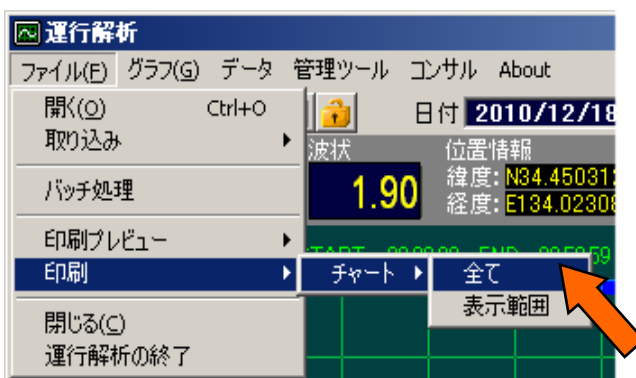
1. グラフを出力する前にプレビューで確認します。「ファイル」メニューから「印刷プレビュー」→「チャート」をクリックします。



2. ディスプレイ上で、下図のようにみることができます。



3. 「ファイル」の「印刷」をクリックして、出力したい範囲を選択して印刷します。



## 6. 管理ツール

### 6-1. 設定

■設定を変更する場合は、管理ツールへのログインを行います。

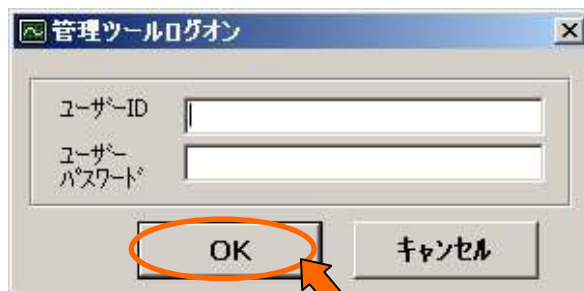
1. 「管理メニュー」から「設定」をクリックします。



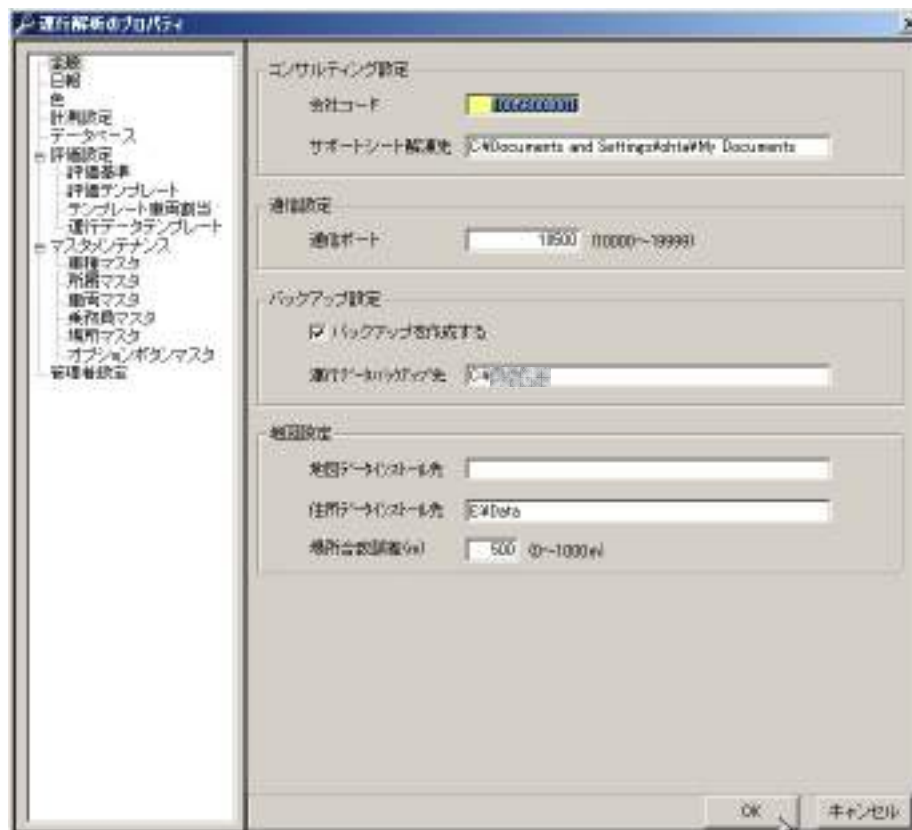
2. 「管理ツールログオン」が表示されます。

設定した管理者 ID とパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

ユーザ ID の初期値は「admin」、パスワードの初期値は「admin」です。



3. 運行解析のプロパティ画面が表示されます。





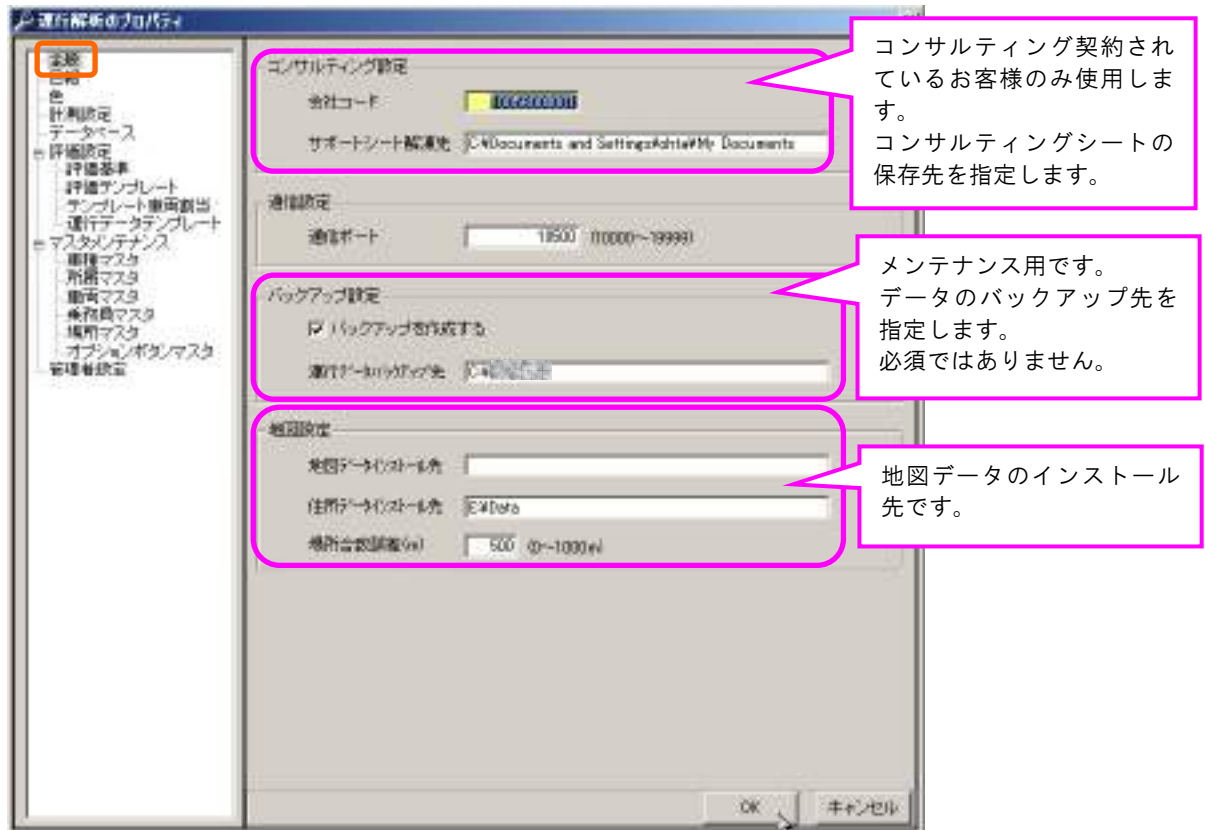
## 6-1-1. 全般

## ■機能

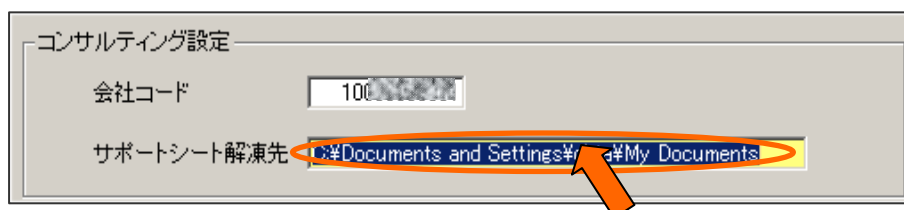
運行解析の基本的な設定をすることができます。通常、インストール時に設定します。

## ■操作

1. 「運行解析のプロパティ」画面から「全般」をクリックします。

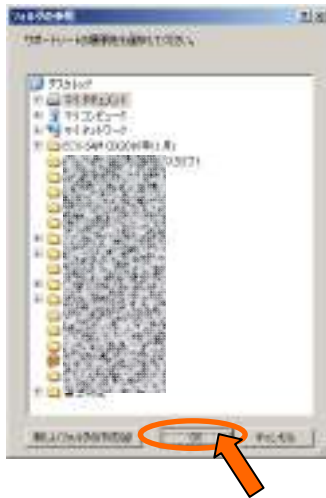


2. 「サポートシート解凍先」、「運行データバックアップ先」、「地図データインストール先」、「住所データインストール先」を変更する場合は、入力欄をダブルクリックしてください



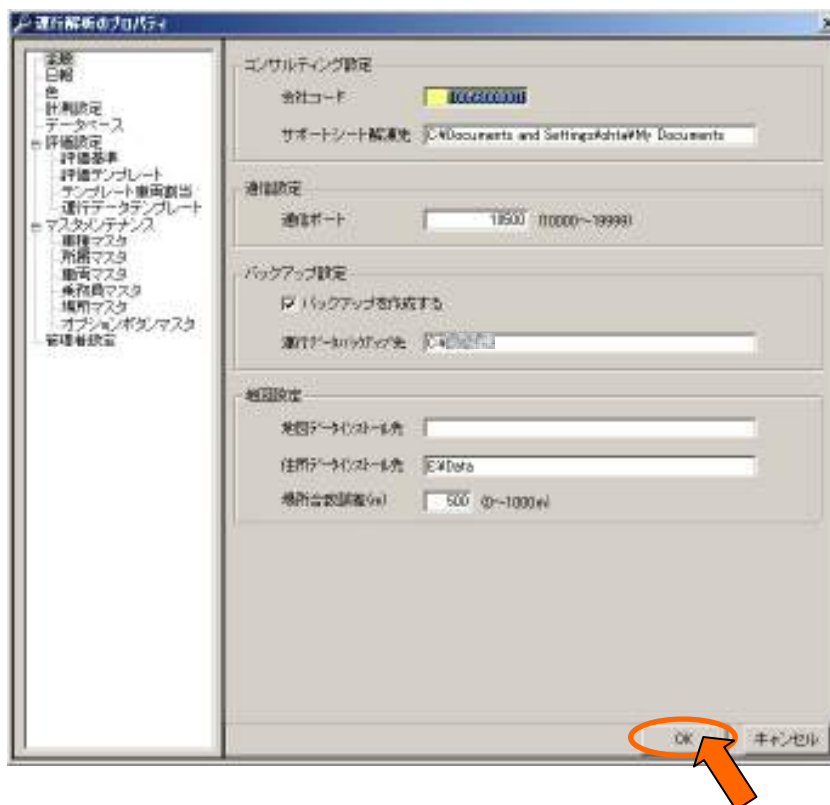
3. 「フォルダの参照画面が表示されます。

フォルダを選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



4. 設定を変更した場合は必ず「OK」ボタンをクリックしてください。

※「OK」ボタンをクリックしないと、設定が保存されませんのでご注意ください。



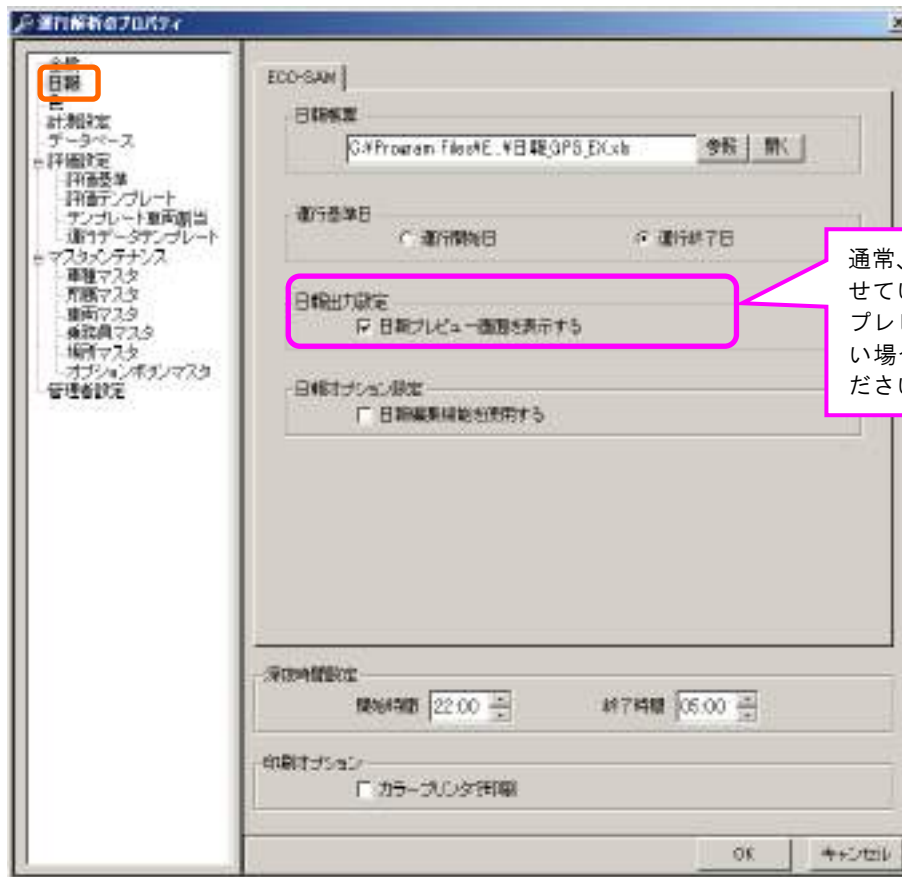
## 6-1-2. 日報

### ■機能

日報関係の設定が出来ます。

### ■操作

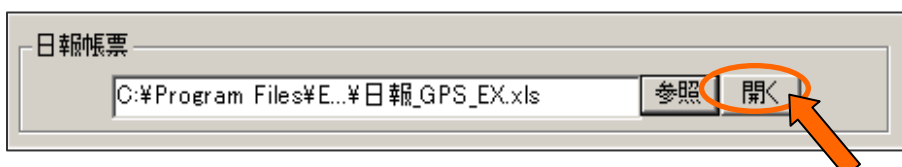
1. 「運行解析のプロパティ」画面から「日報」をクリックします。



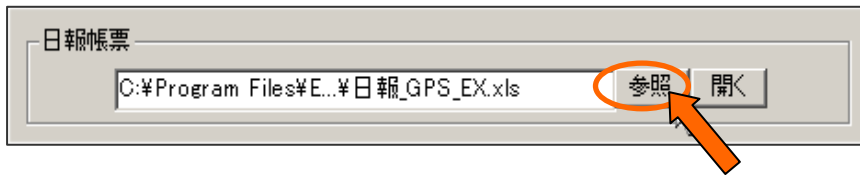
2. 日報帳票を確認する場合は「開く」ボタンをクリックします。

エクセルファイルが開きます。印刷設定を変更する場合に使用します。

注) 印刷設定以外は、基本的に変更しないでください。

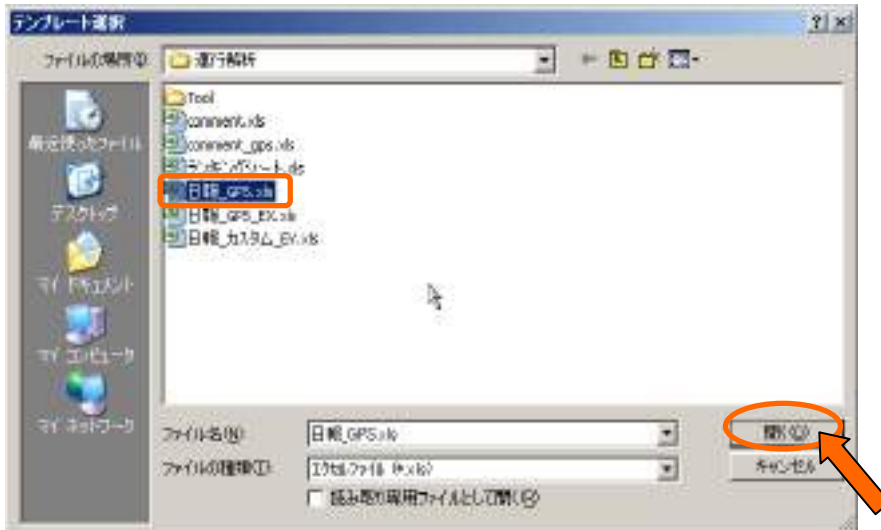


3. 別の日報帳票を使用する場合は「参照」ボタンをクリックします。



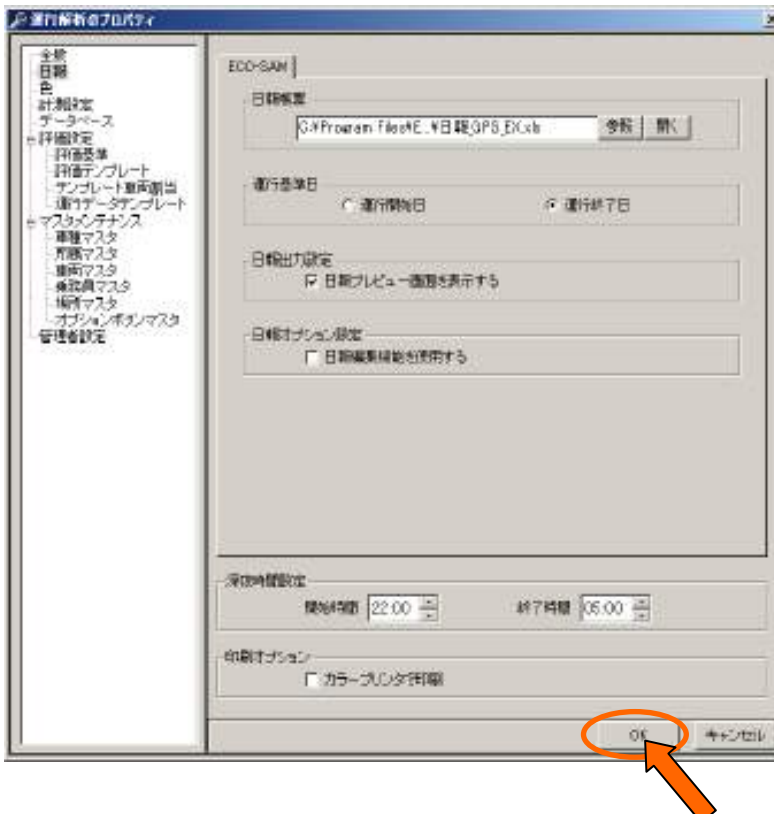
テンプレート選択画面が表示されます。

使用したいエクセルファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



4. 設定変更が済んだら、「OK」ボタンをクリックしてください。

※「OK」ボタンをクリックしないと、設定が保存されませんのでご注意ください。



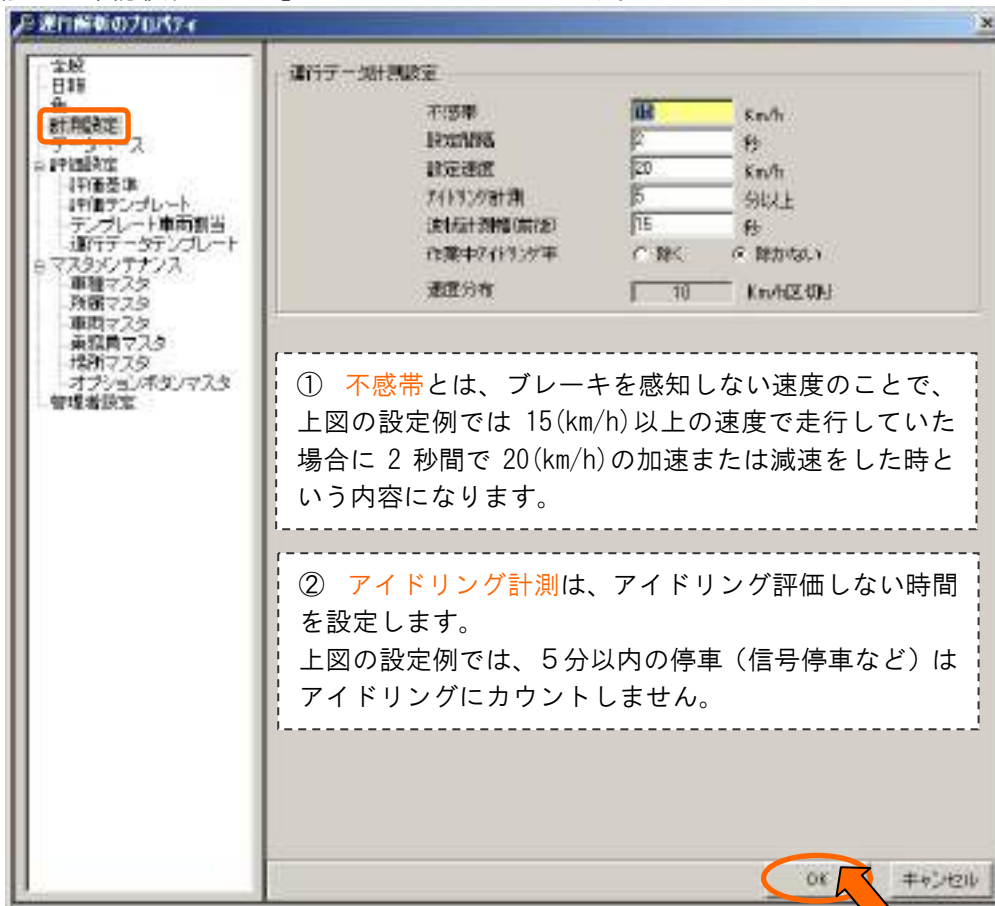


## 6-1-4. 計測設定

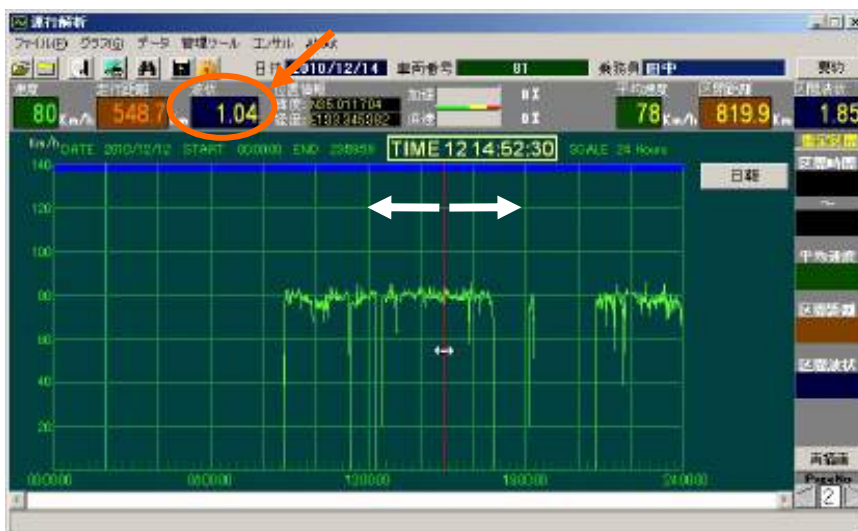
## ■操作

1. 「運行解析のプロパティ」画面から「色」をクリックします。

設定を確認後、「OK」ボタンをクリックします。



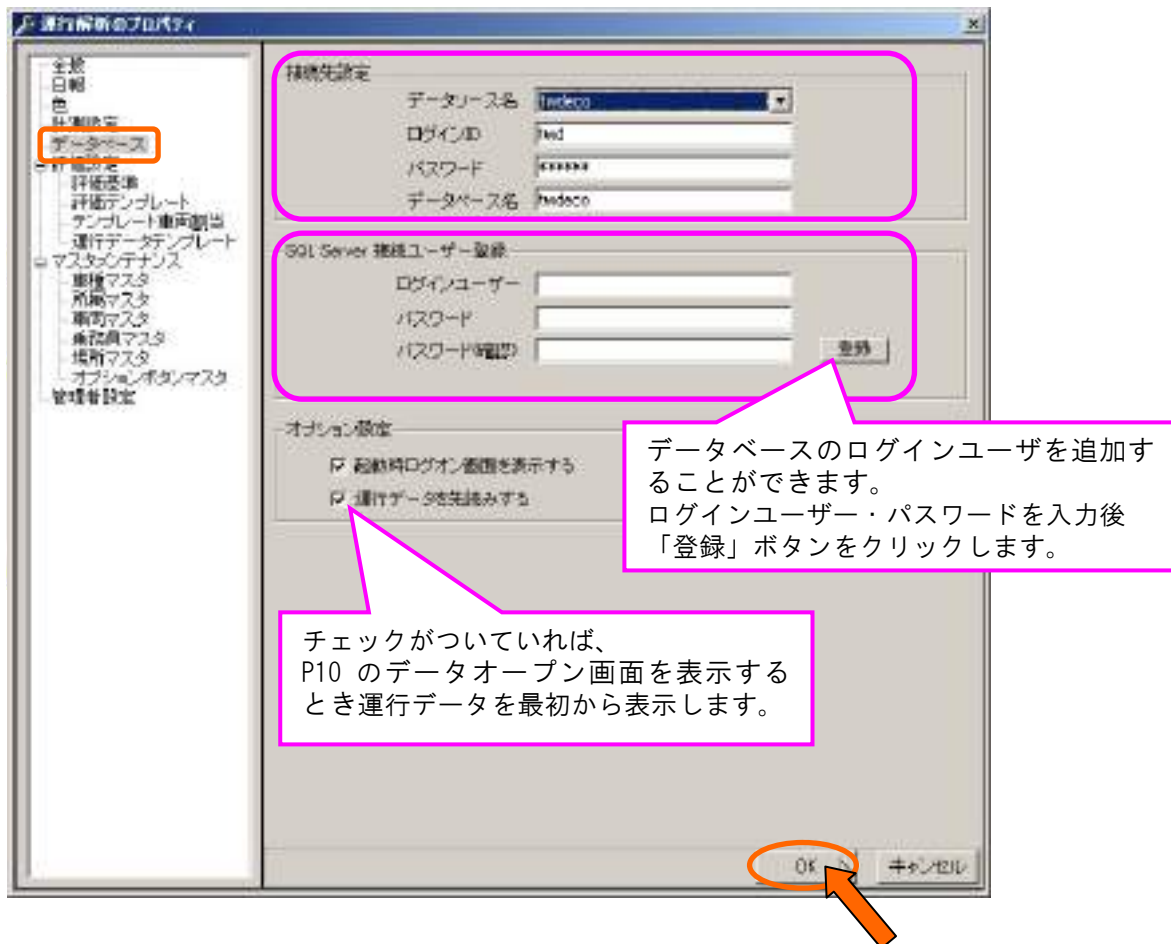
- ③ **波状計測幅**とは、ヘアラインカーソルが指す位置の波状指数を計測するため数値です。「15秒」と設定すると、ヘアラインカーソルから前に15秒後ろに15秒、合わせて30秒間の波状指数を計算します。



## 6-1-5. データベース設定

## ■操作

1. 「運行解析のプロパティ」画面から「データベース」をクリックします。



※「OK」ボタンをクリックしないと、設定が保存されませんのでご注意ください。



## 6-1-6. 評価基準

## ■機能

日報等に表示される評価点のランクの設定を行います。

## ■操作

1. 「運行解析のプロパティ」画面から「評価基準」をクリックします。



2. 「評価基準設定」の画面が表示されます。「EX」「A」「B」「C」「D」の5段階のランクがありますので、各項目のランクの境界線を設定し、「OK」ボタンをクリックしてください。
3. 設定変更が済んだら、「OK」ボタンをクリックしてください。  
 ※「OK」ボタンをクリックしないと、設定が保存されませんのでご注意ください。



## 6-1-7. 評価テンプレート

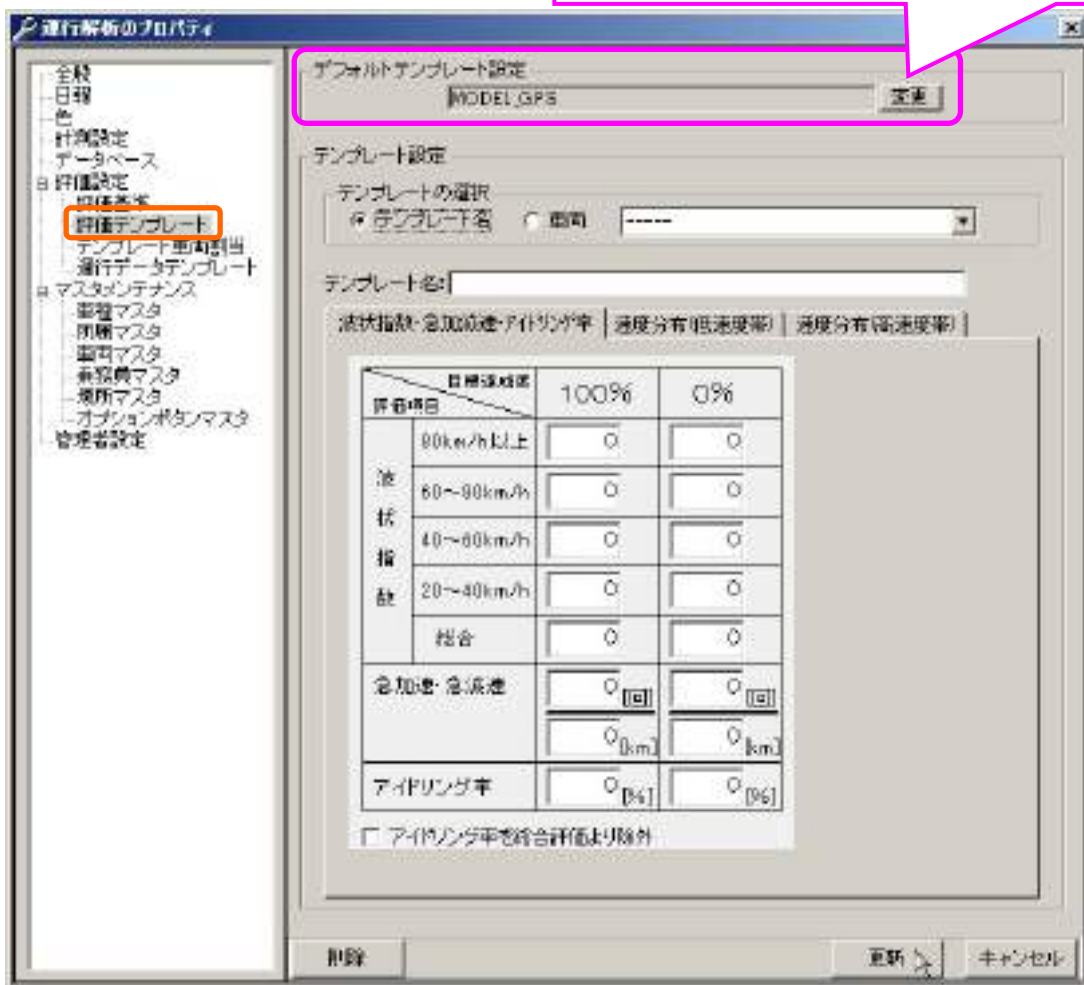
## ■機能

日報等に表示される評価点の基準の設定を行います。

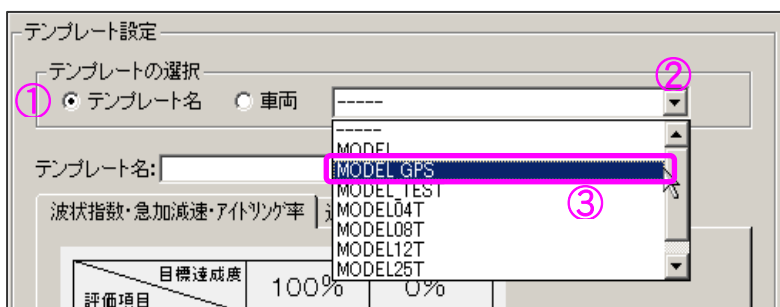
## ■操作

1. 「運行解析のプロパティ」画面から「評価テンプレート」をクリックします。  
テンプレートの初期値として【MODEL\_GPS】が設定されています。

お客様独自のテンプレートを使用される場合は「変更」で設定してください。



2. テンプレートを修正する場合、既存のテンプレートを開きます。  
①テンプレートにチェックを入れ、②▼をクリックし、③【MODEL\_GPS】を選択します。



3. テンプレートが表示されます。

#### ■波状運転指数・急加減速回数・アイドリング率の設定

それぞれの速度帯別の評価が最高になる値と最低になる値を入力してください。

また、急加速・急減速・アイドリング率も同様に、最高になる値と最低になる値を入力してください。

※1：アイドリング率を日報の総合評価からはずしたい場合はチェックをいれてください。

テンプレート設定

テンプレートの選択  
 テンプレート名  車両 MODEL\_GPS

テンプレート名 MODEL\_GPS

波状指数・急加減速・アイドリング率 | 速度分布(低速度帯) | 速度分布(高速度帯)

目標達成度		100%	0%
波状指数	80km/h以上	10	25
	60~80km/h	10	25
	40~60km/h	10	25
	20~40km/h	10	25
	総合	10	25
急加速・急減速		1 [回]	10 [回]
		100 [km]	100 [km]
アイドリング率		5 [%]	40 [%]

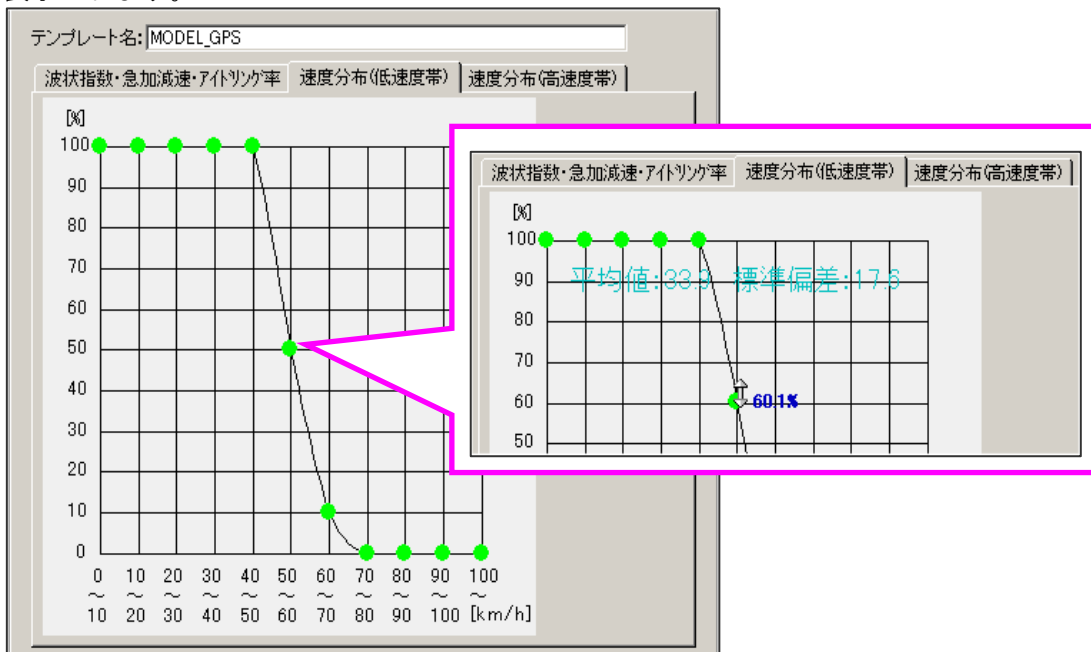
※1  アイドリング率を総合評価より除外

MODEL\_GPS のままでは更新できませんので名前をつけてください。例：MODEL\_TWD

#### ■速度分布の設定

グラフ上の「●」をドラックし、それぞれの速度の許容範囲を選びます。

ドラックしている間「●」の右側に現在の値、グラフの上部に全体の平均値と標準偏差が表示されます。



4. テンプレートを保存します。  
テンプレート名を確認後、「更新」ボタンをクリックします。  
※テンプレート名:MODEL\_GPS のままでは更新できません。

テンプレート設定

テンプレートの選択  
 テンプレート名  車両 MODEL\_GPS

テンプレート名: MODEL\_TWD

波状指数・急加減速・アイトリック率 | 速度分布(低速度帯) | 速度分布(高速度帯)

速度帯 [km/h]	値 [%]
0 ~ 10	100
10 ~ 20	100
20 ~ 30	100
30 ~ 40	100
40 ~ 50	100
50 ~ 60	50
60 ~ 70	10
70 ~ 80	0
80 ~ 90	0
90 ~ 100	0

削除 更新 キャンセル

## 6-1-8. テンプレート車両割り当て

## ■機能

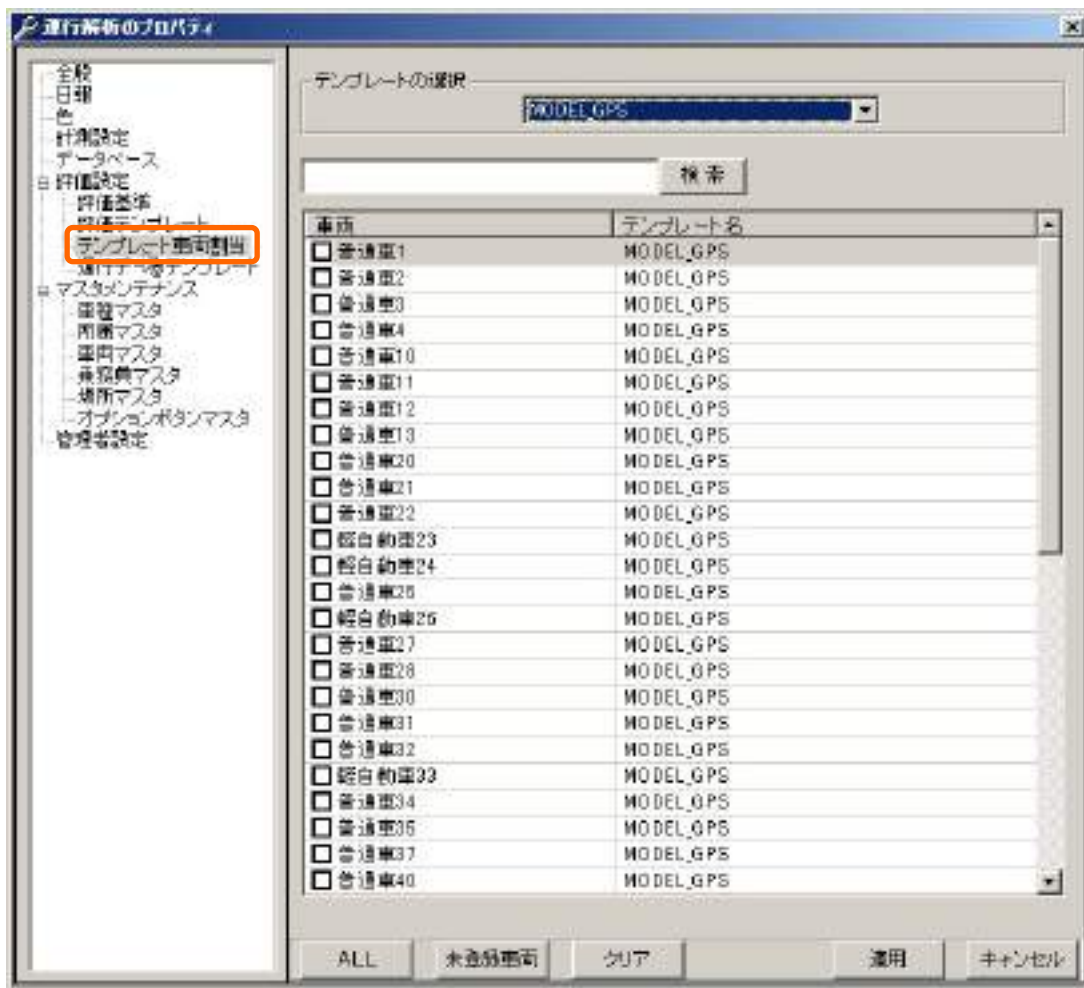
評価テンプレートを各車両へ割り当てます。

車両マスタで車両を追加すると、初期値としてデフォルトテンプレートが設定されています。

(6-1-7. 評価テンプレートを参照してください)

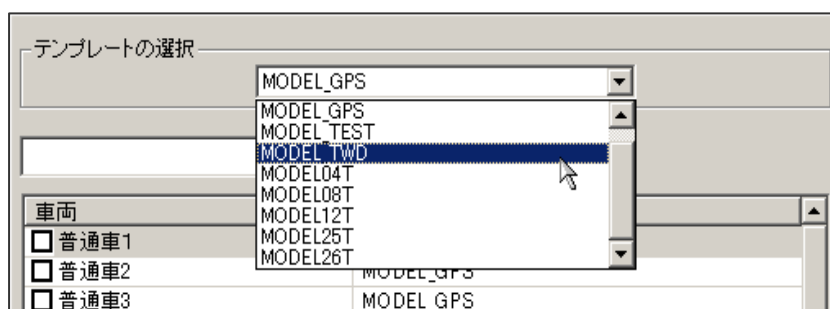
## ■操作

1. 「運行解析のプロパティ」画面から「テンプレート車両割当」をクリックします。

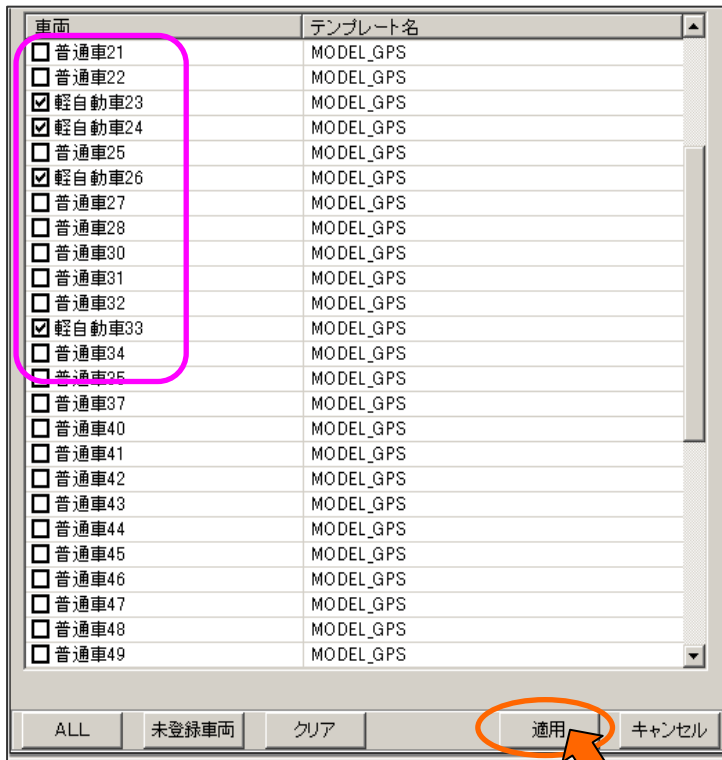


2. 使用したいテンプレートを選択します。

▼をクリックするとリストが表示されますので、使用するテンプレートを選択します。



3. テンプレートを変更したい車両にチェックを入れ、「適用」ボタンをクリックするとテンプレートが変更できます。  
すでに読み込んでいる走行データの評価を変更したい場合は、次項の6-1-9. 運行データテンプレートで設定してください。



- ※ 全車両変更する場合は、「ALL」ボタンを押すと全車両チェックが入ります。
- ※ チェックをはずす場合は、「クリア」ボタンを押すかチェックした車両を再度クリックしてください。

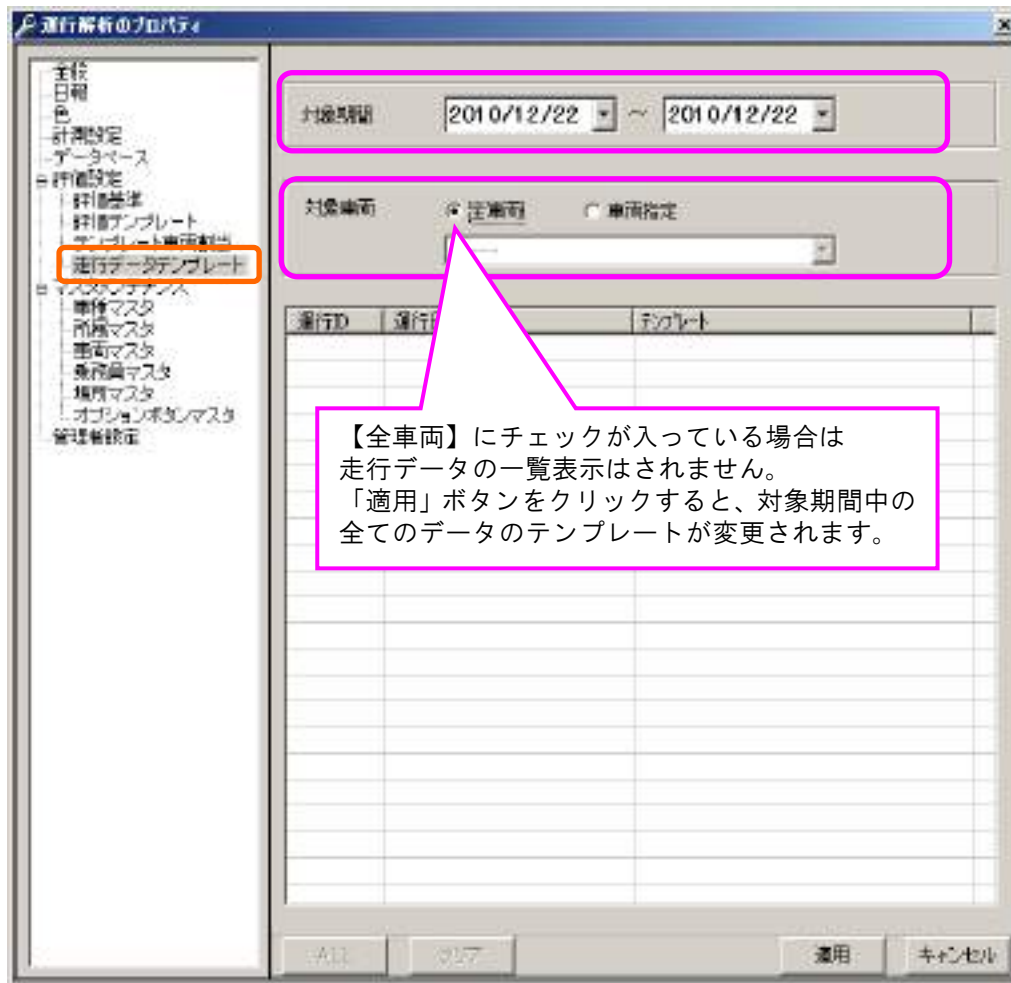
## 6-1-9. 走行データテンプレート

### ■機能

すでに読み込んでいる走行データのテンプレートの変更ができます。  
先に、「テンプレート車両割り当て」をしておく必要があります。

### ■操作

1. 「運行解析のプロパティ」画面から「走行データテンプレート」をクリックします。  
対象期間を指定し、走行データを絞り込みます。  
または、対象車両を指定し走行データを絞り込みます。







## 6-2. マスタメンテナンス

### ■機能

各種マスタの変更および追加、削除をすることができます。

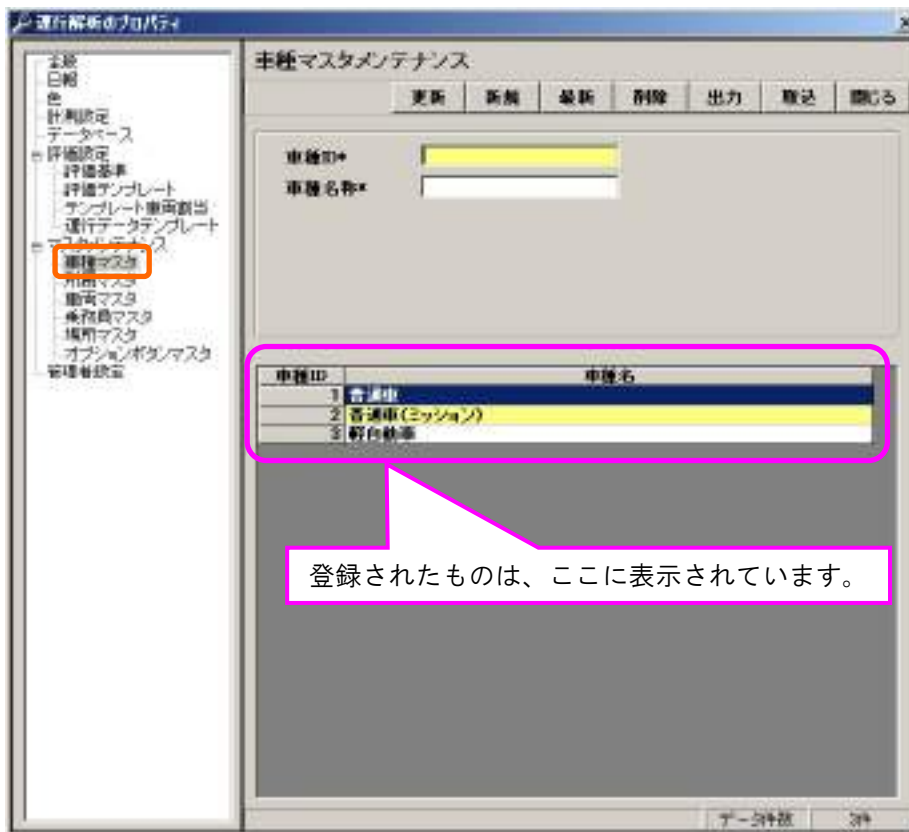
### 6-2-1. 新規登録

■「車種マスタ」→「所属マスタ」→「乗務員マスタ」→「車両マスタ」の順番で作成してください。

※「場所マスタ」「オプションボタンマスタ」の入力は必須ではありません。

#### 1. 車種マスタ

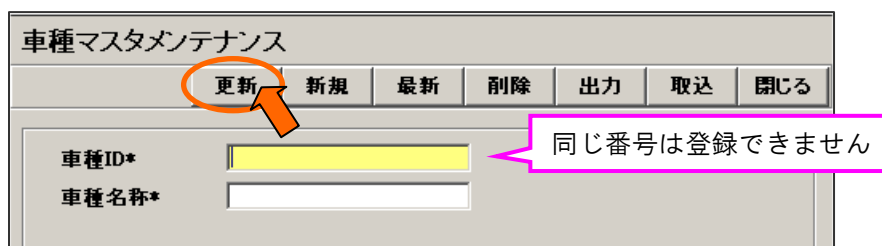
「運行解析のプロパティ」画面から「車種マスタ」をクリックします。



車種 ID と車種名称を記入します。

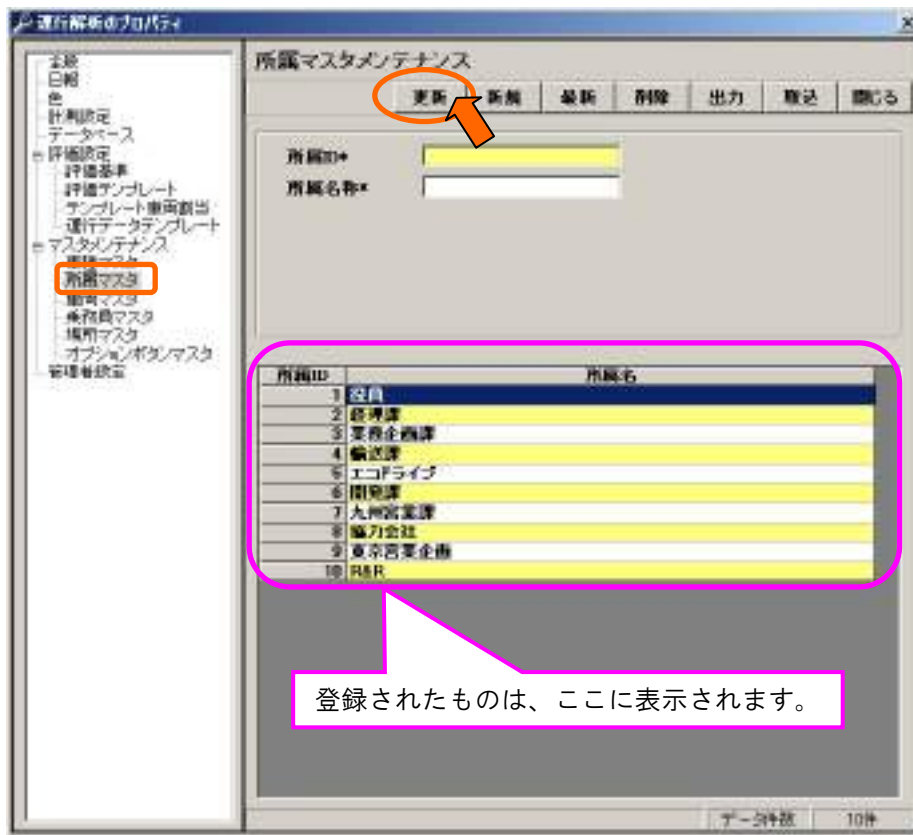
記入例) 車種 ID : 1、車種名称 : 営業車

内容を確認して、「更新」ボタンをクリックします。



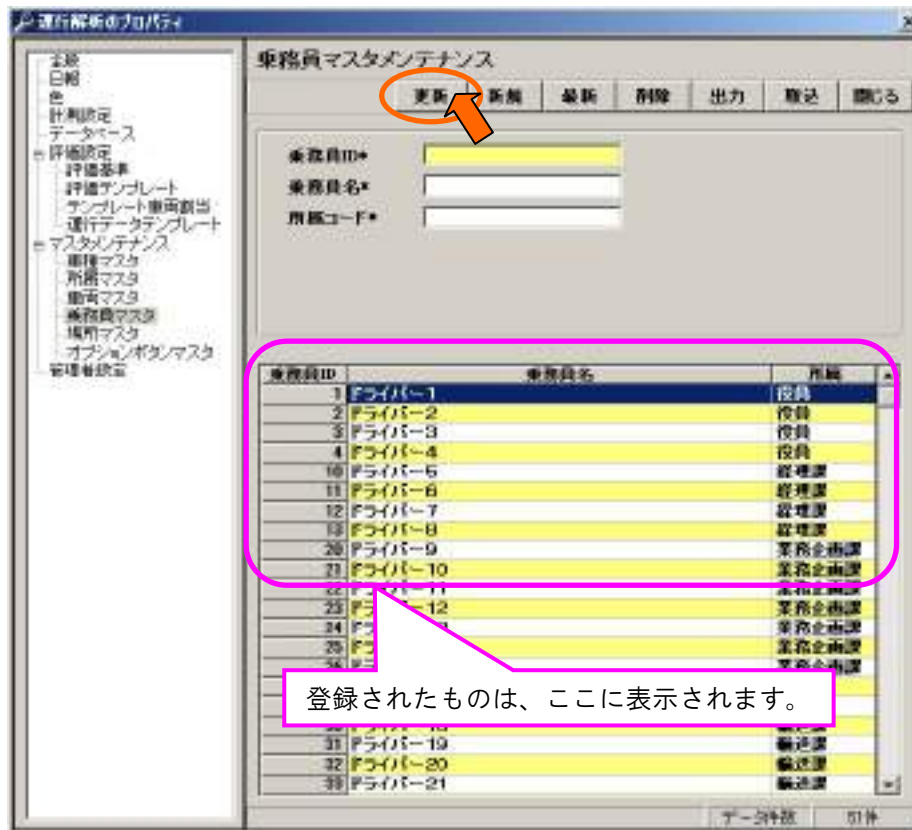
## 2. 所属マスタ

「運行解析のプロパティ」画面から「所属マスタ」をクリックします。  
所属 ID と所属名称を記入後、「更新」ボタンをクリックしてください。  
※ランキング表にて、所属毎のランキングが出ます



## 3. 乗務員マスタ

「運行解析のプロパティ」画面から「乗務員マスタ」をクリックします。  
乗務員 ID・乗務員名・所属コードを記入後、「更新」ボタンをクリックしてください。



## 4. 車両マスタ

「運行解析のプロパティ」画面から「車両マスタ」をクリックします。  
 車両ID・車両No・登録番号・車種コード・所属コードを記入後、「更新」ボタンをクリックしてください。※乗務員コードは必須ではありません。

車両マスタメンテナンス

更新 新規 最新 削除 出力 取込 閉じる

車両ID\*  
 車両No\*  
 登録番号\*  
 車種コード\*  
 所属コード\*  
 乗務員コード

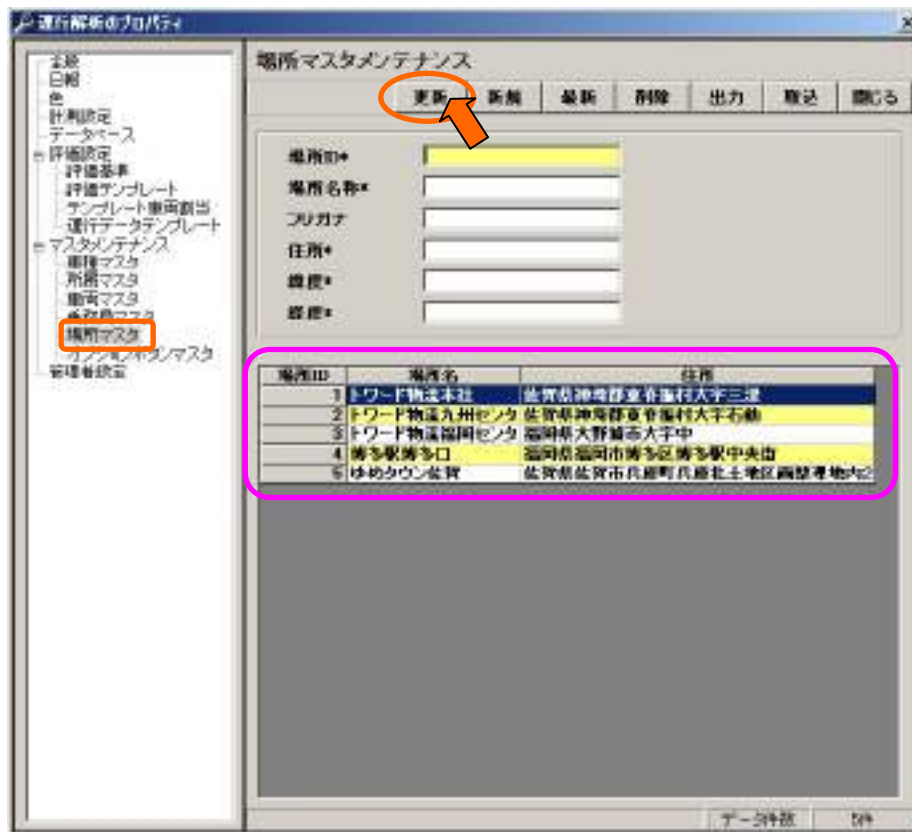
車両ID	車両No	登録番号	車種	所属	乗務員
1	1	普通車1	普通車	役員	左田 健二
2	2	普通車2	普通車	役員	野田 豊
3	3	普通車3	普通車	役員	太田 敏彦
4	4	普通車4	普通車	役員	小倉 健
10	10	普通車10	普通車	経理課	津田 雅浩
11	11	普通車11	普通車	経理課	太田 洋之
12	12	普通車12	普通車	経理課	吉田 源秋
13	13	普通車13	普通車	経理課	坂弘 寛子
20	20	普通車20	普通車	業務企画課	吉村 浩
21	21	普通車21	普通車	業務企画課	秋吉 成重
22	22	普通車22	普通車	業務企画課	中村 雅正
23	23	普通車23	普通車	業務企画課	釘崎 伸江
24	24	普通車24	普通車	業務企画課	神尾 洋美
25	25	普通車25	普通車	業務企画課	松崎 正定
26	26	普通車26	普通車	業務企画課	外野 実穂
31	31	普通車31	普通車	輸送課	高牧 久
32	32	普通車32	普通車	輸送課	細方 正二
33	33	普通車33	普通車	輸送課	白井 謙子

登録されたものは、ここに表示されます。

## 5. 場所マスタ

「運行解析のプロパティ」画面から「場所マスタ」をクリックします。

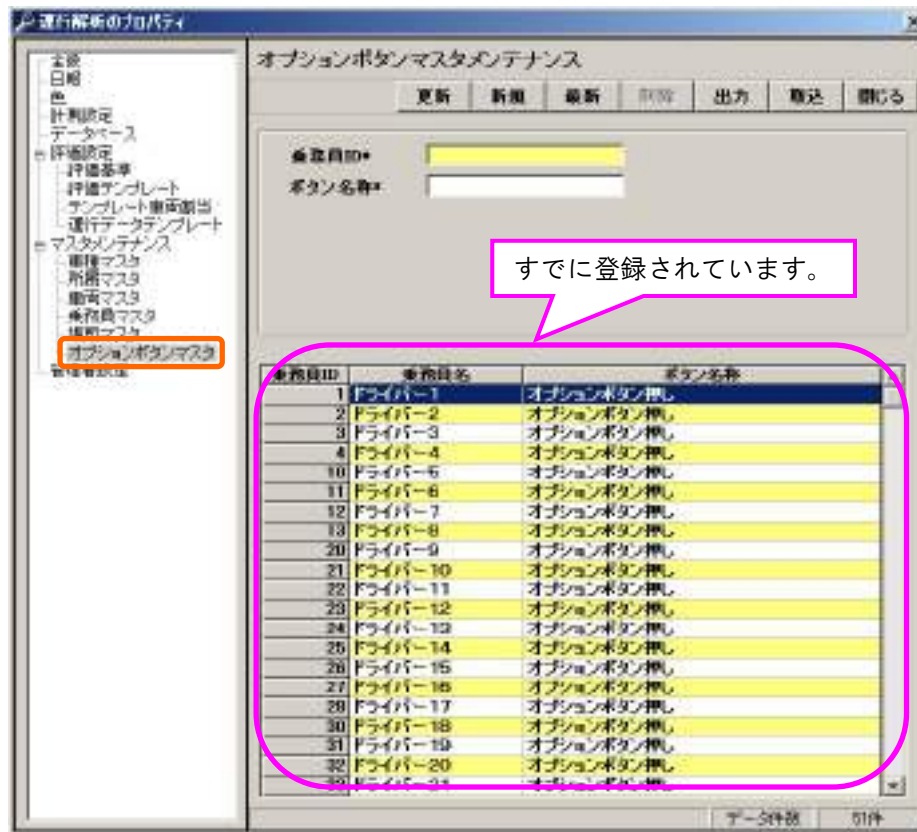
※場所マスタは必須入力ではありませんが、会社や立寄先の住所データを登録しておくこと、地図上に表示できます





## 6. オプションボタンマスタ

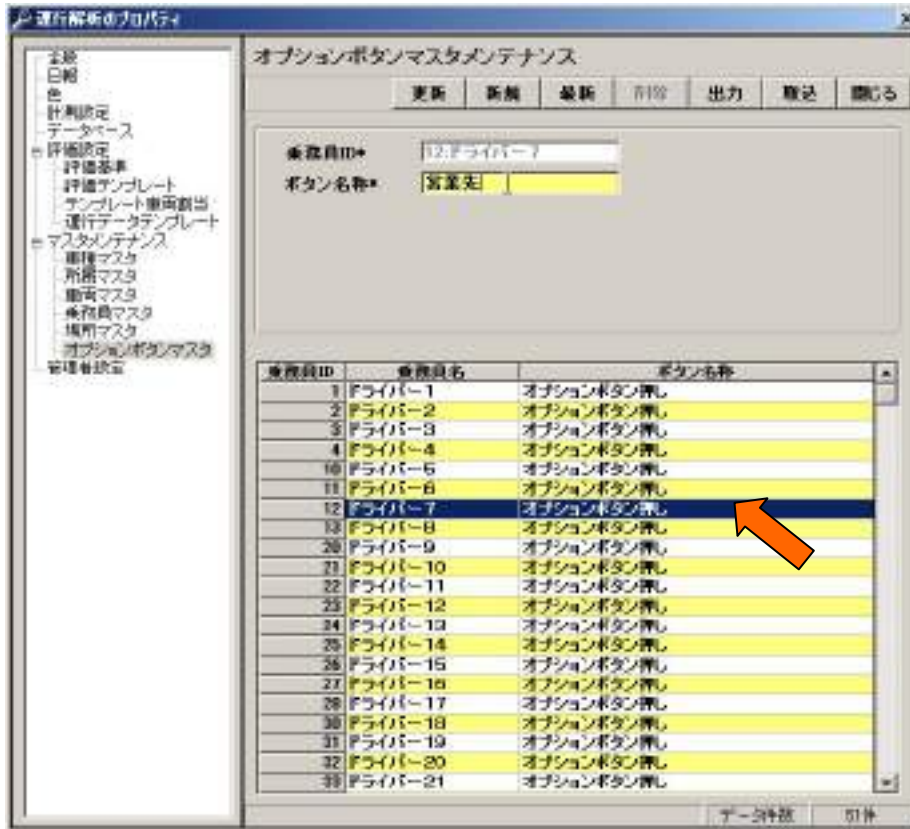
「運行解析のプロパティ」画面から「オプションボタンマスタ」をクリックします。  
 乗務員マスタを登録すると自動的に登録されています。  
 ボタン名称を変更するときに使用します。  
 ※ECO-SAMの赤いボタンを押した場所を表示するときに使用します。



## 6-2-2. 変更修正

## ■操作

1. 変更修正したいマスタを一覧から選択しダブルクリックします。



2. 変更したい部分を入力します。最後に「更新」ボタンをクリックします。

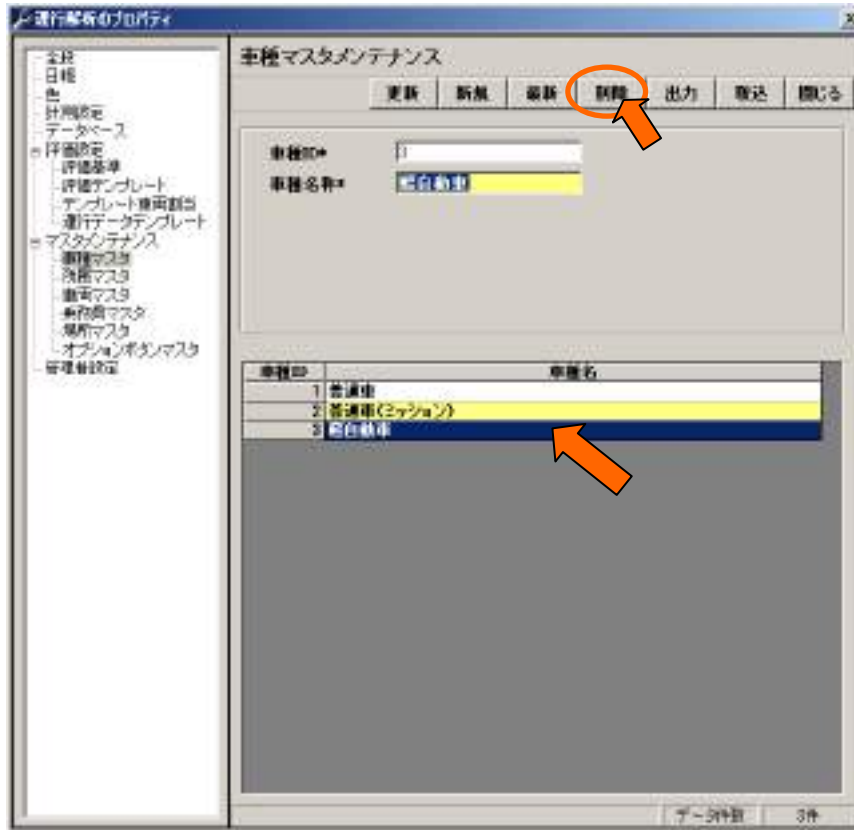


(注) 「更新」ボタンをクリックせずに終了すると、変更修正されません。

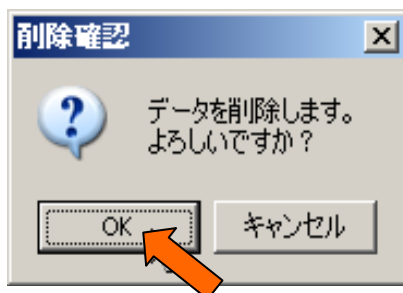
## 6-2-3. 削除

## ■操作

1. 削除したいマスタを一覧から選択しダブルクリックし、「削除」ボタンをクリックします。



2. 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



3. 一覧からデータが消えていることを確認してください。

車種ID	車種名
1	普通車
2	普通車(ミッション)

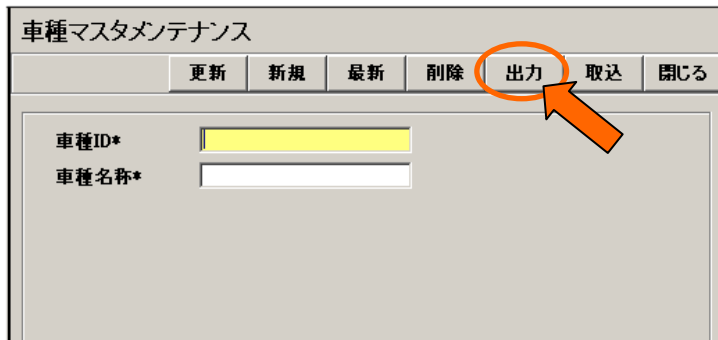
## 6-2-4. 出力・取込

### ■機能

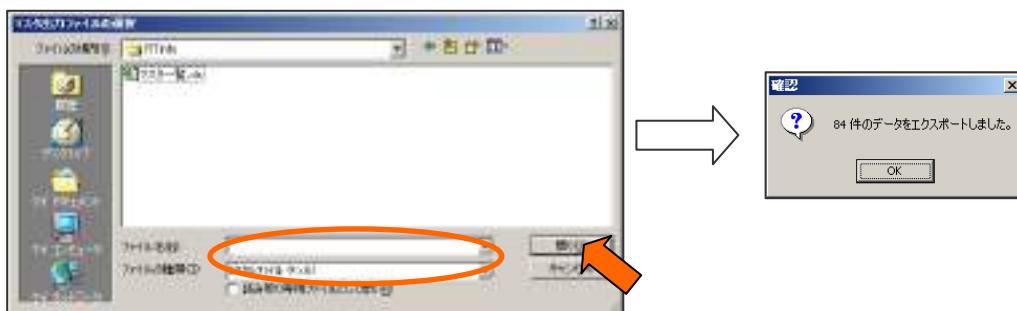
各種マスタをCSVファイルに出力することができます。  
また、CSVファイルで編集したマスタデータを取り込むことができます。

### ■操作

1. 「出力」ボタンをクリックします。



2. ダイアログが表示されますので、任意のフォルダを指定し任意の名前を入力します。

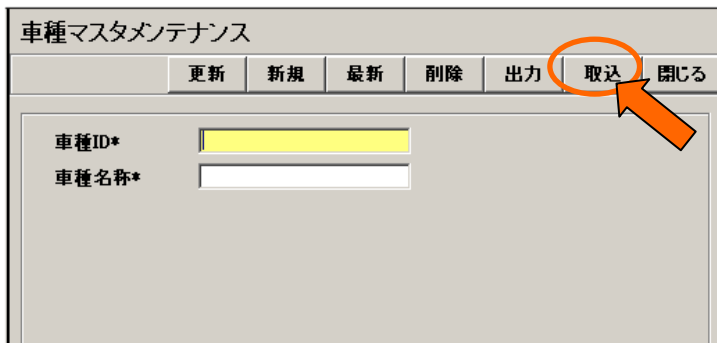


3. 2. で指定したフォルダ内にCSVファイルがつくられます。

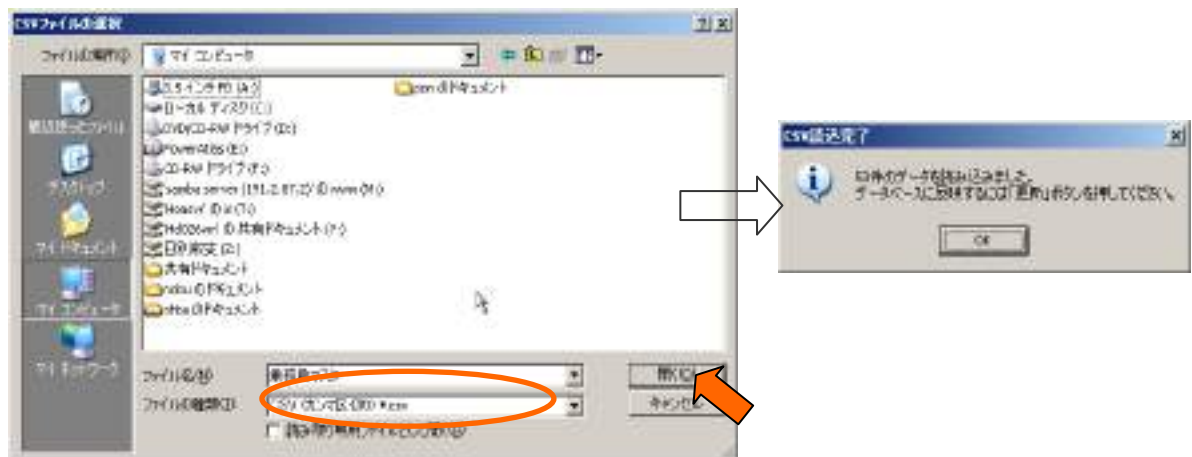


4. CSVファイルでマスタの追加・変更をします。  
※追加・変更する件数が多い場合は便利です。

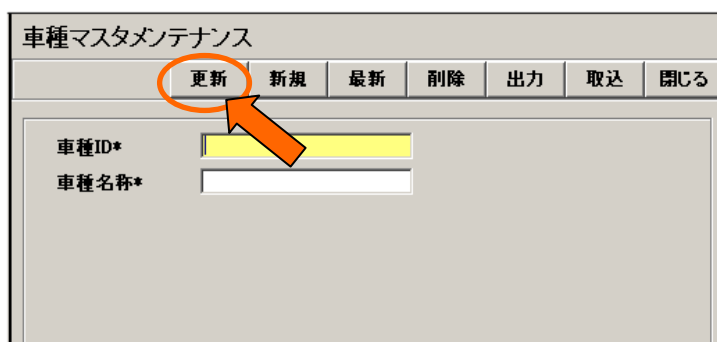
5. 修正したCSVファイルを取り込みます。  
「取込」ボタンをクリックします。



6. CSVファイルの選択画面が表示されます。  
取り込むCSVファイルを指定し、「開く」ボタンをクリックします。  
「CSV読み込み完了」のメッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックします。



7. 「更新」ボタンをクリックしてください。  
「更新」ボタンをクリックしないと、変更は反映されません。



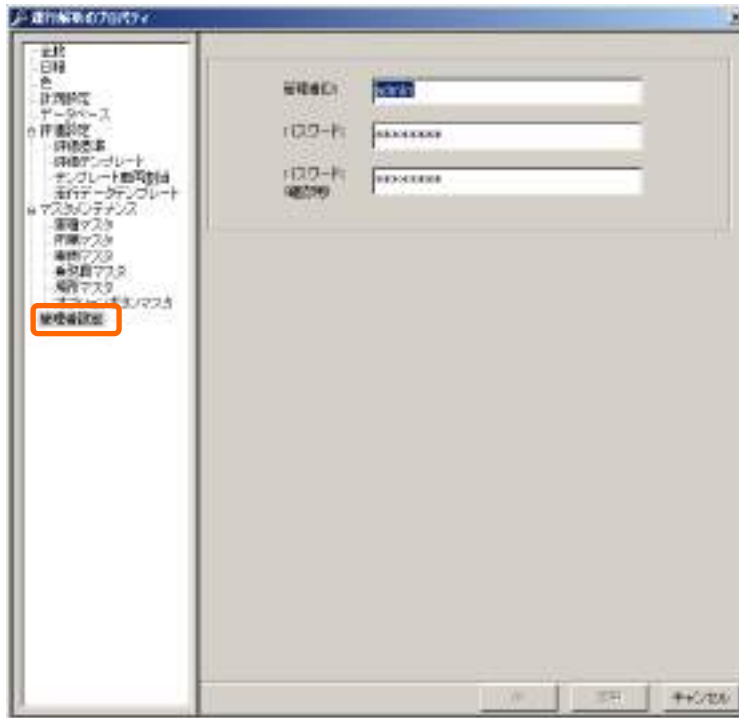
## 6-3. 管理者設定

### ■機能

「管理ツール」メニューの機能を使用する際のログオン ID とパスワードを確認できます。

### ■操作

1. 「管理ツール」メニューから「管理者設定」を選択します。



2. 管理者 ID・パスワードを変更し、「OK」ボタンをクリックします。





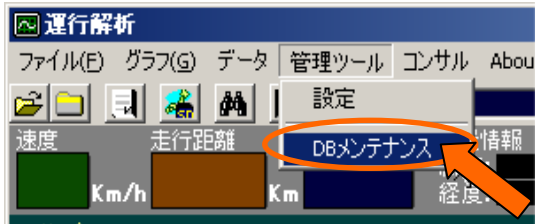
## 6-4. DBメンテナンス

## ■機能

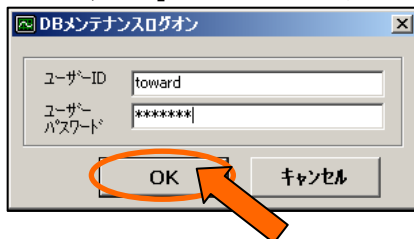
運行データ記録されているデータベースのメンテナンス操作を行います。

## ■操作

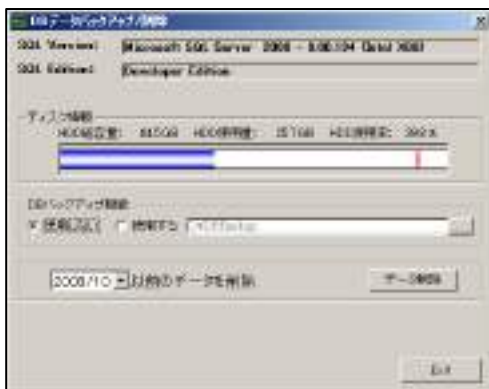
1. 「管理ツール」メニューから「DBメンテナンス」をクリックします。



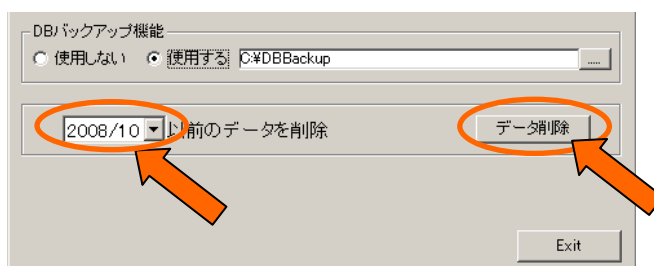
2. 「DBメンテナンスログオン」画面を表示します。  
運行解析の「ログインID」と「パスワード」を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください



3. 「DB データバックアップ/削除」画面が表示します。



4. 削除するデータの年月を選択し、データ削除を押してください。削除の処理が開始されます。  
選択した月より前のデータが削除されます。  
(下記例では2008年10月分のデータは削除されません。)



## 7. 走行データの修正と削除

### ■機能

1 運行ごとの走行データの削除と修正（ドライバー・車両）ができます。

### ■操作

1. 「ファイルを開く」ボタンをクリックします。データオープンの画面が表示されます。



2. 「修正」「削除」ボタンを表示させます。

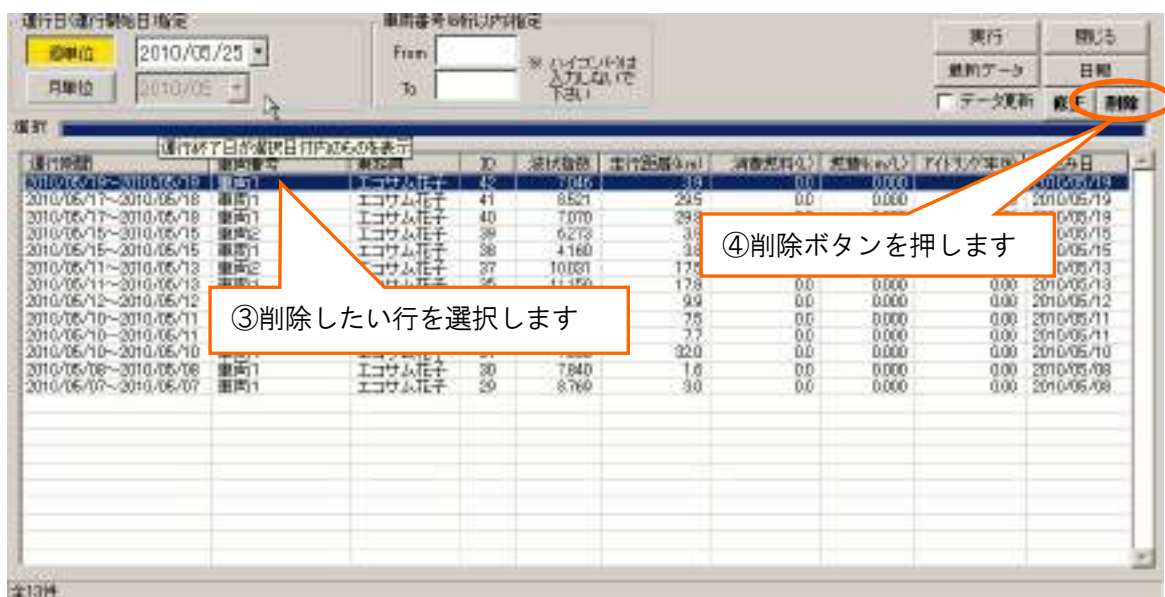
※誤って削除するのを防止するため、通常は表示されていません。

【Ctrl】キーと【Alt】キーと【Shift】キーを同時に押しながら、“選択”の文字をマウスで右クリックします。



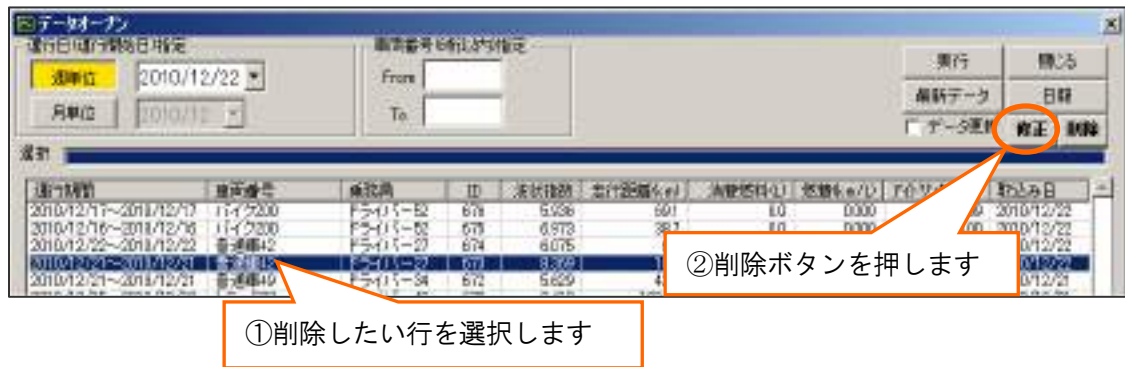
3. 削除する場合

削除したい行を選択して、「削除」ボタンをクリックします。



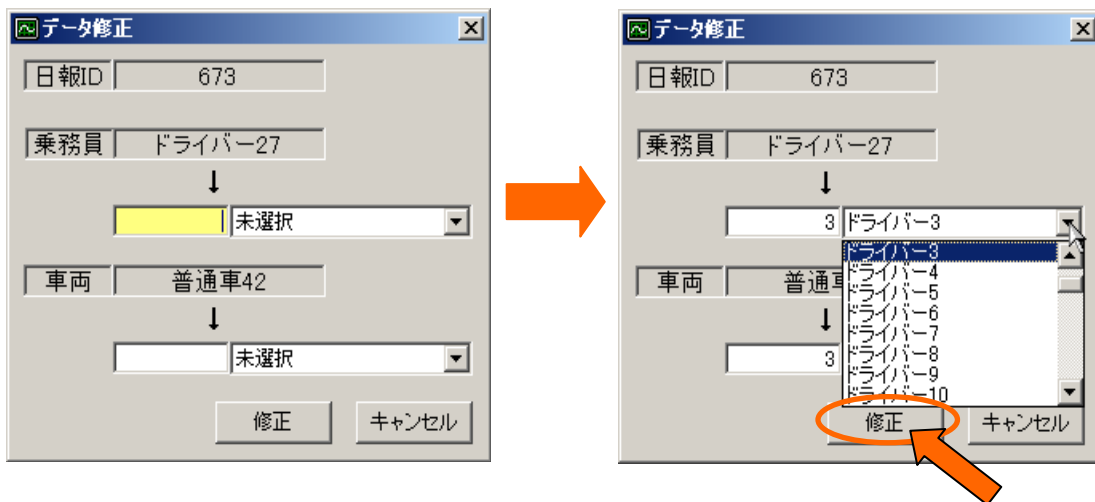
## 4. 修正する場合

修正したい行を選択して、「修正」ボタンをクリックします。



「データ修正」画面が表示されます。

修正したい項目を修正し、「修正」ボタンをクリックします。



### ■過去のデータの一括削除方法

58ページのDBメンテナンスをご参照ください。

## 8. 終了

### ■機能

運行解析を終了します。

### ■操作

1. 「ファイル」メニューから「運行解析の終了」をクリックすると終了します。

